

# 事務事業及び予算の執行実績

(令和3年度分「一部、令和4年度分を含む」)

静岡県立吉田特別支援学校

## 目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	28
学校施設の概要	29
在籍生徒調	31
入学志願者及び入学者数調	33
卒業生の動向調	34
生徒の状況	35
預金調	37
郵券等受払調	38
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	39
委託料に関する調	40
補助金支出調	46
負担金支出調	48
建築工事調	50
公有財産調	54
借地借家等調	55
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	56
行政財産貸付・使用許可調	57
主要備品調	58
生産物受払調	59
職員調	68
職員の年齢調	72
健康管理	73

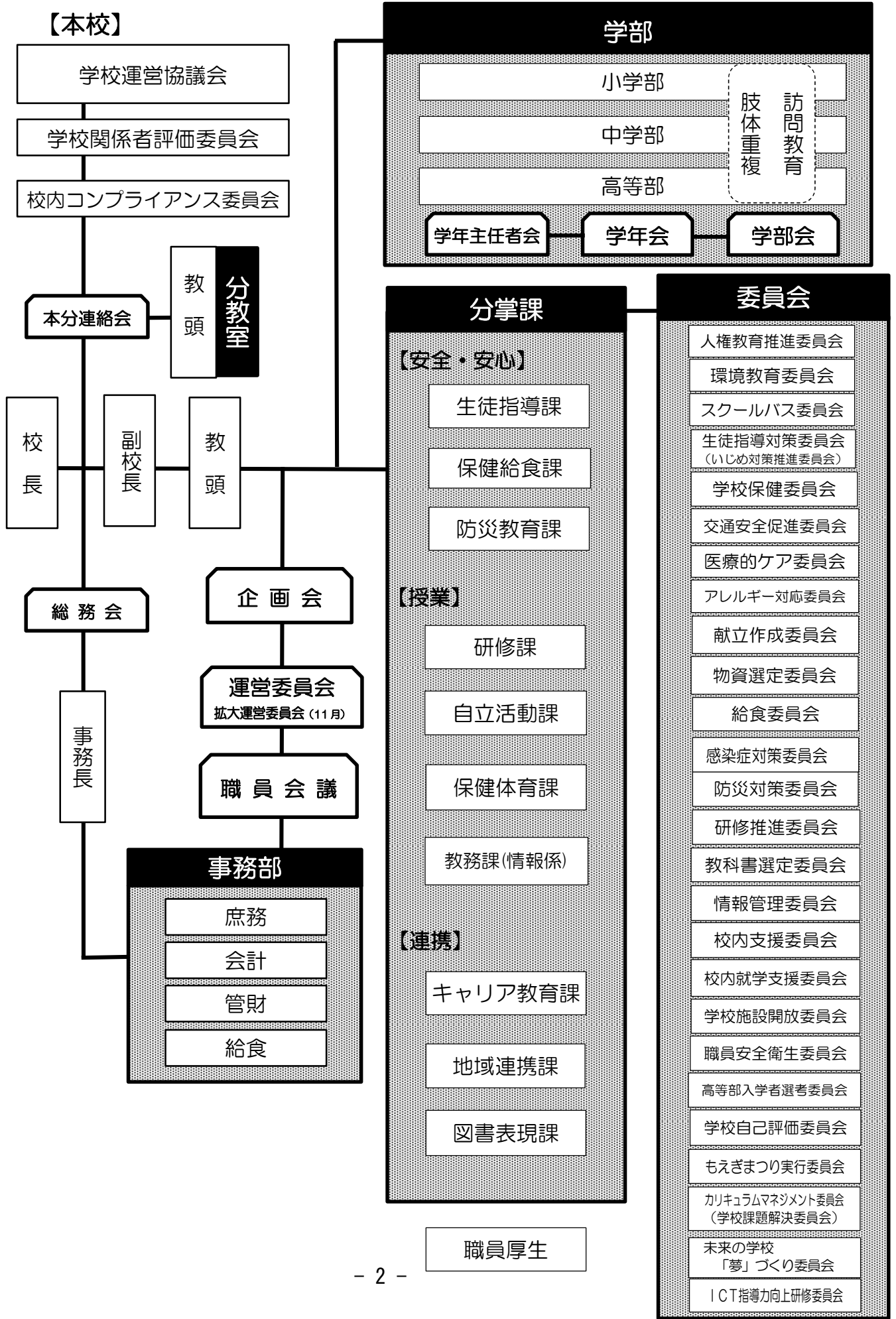
## 事務事業の概要

### 1 概況

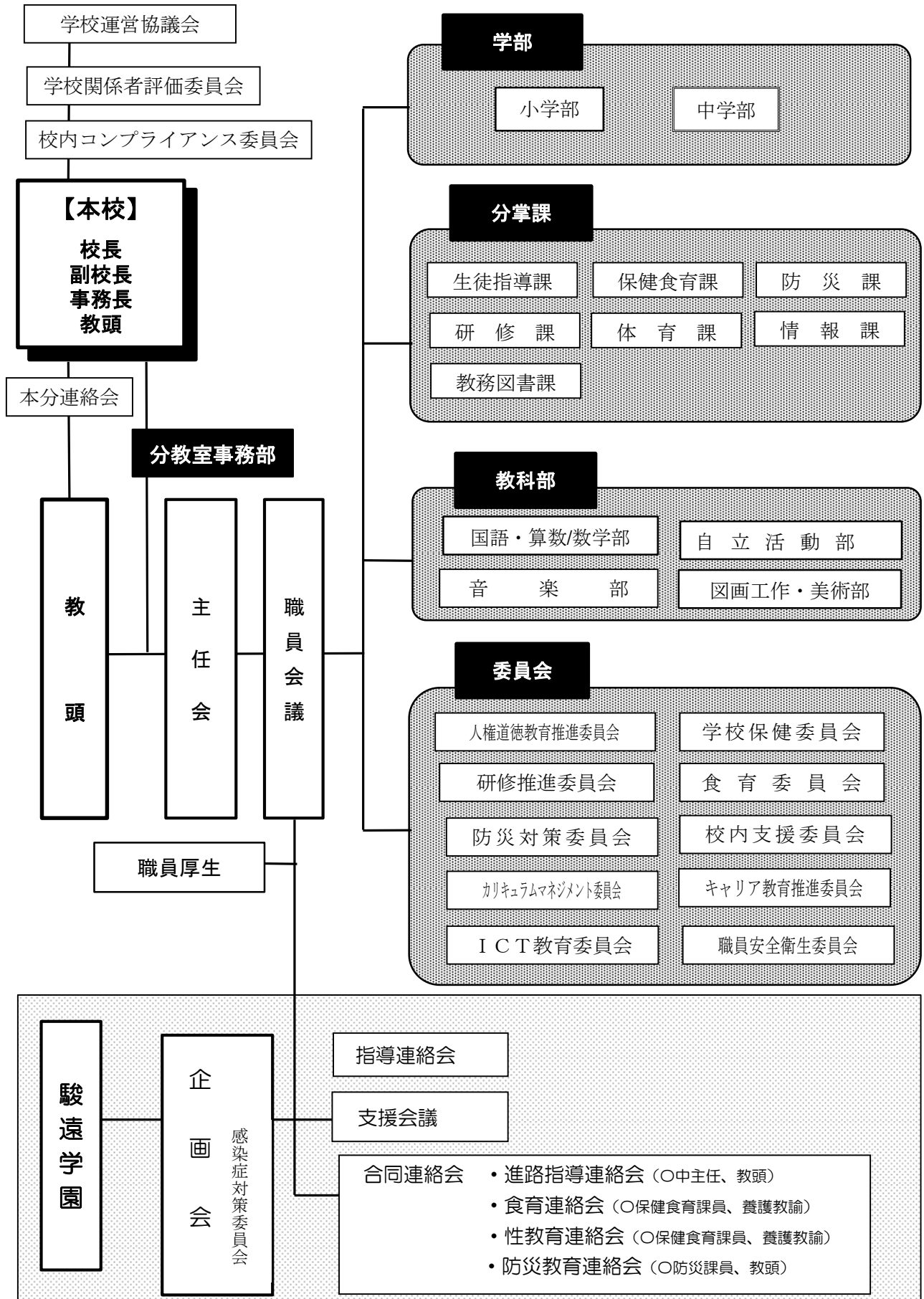
#### (1) 学校の沿革

- 平成19年6月7日 県議会議長に対し、榛南地域養護学校設置実行委員会実行委員長、藤枝養護学校PTA会長から「榛南地区に特別支援学校の設置を求める要望」（署名9,426人）が提出
- 平成21年9月15日 県知事、県議会議長、県教育長に対し、志太榛原地域特別支援学校設置実行委員会、藤枝特別支援学校PTAから「志太榛原地域の特別支援学校設置要望書」（署名20,440人）が提出
- 平成22年9月14日 県知事、県議会議長、県教育長に対し、志太榛原地域特別支援学校設置実行委員会委員長、藤枝特別支援学校PTA会長、県手をつなぐ育成会会長他から「志太榛原地域の特別支援学校設置要望書」が提出
- 平成22年10月25日 吉田町長に対し、志太榛原地域特別支援学校設置実行委員会委員長、藤枝特別支援学校PTA会長、県手をつなぐ育成会会長他から「榛原地域の特別支援学校設置要望書」が提出
- 平成23年3月 県教育委員会策定の「静岡県立特別支援学校施設整備計画」において、榛南地区への特別支援学校本校の設置（H27開校予定）が盛り込まれる
- 平成24年9月24日 「吉田高校と大井川高校の統合再編に係る説明会」（地元説明会）において、特別支援学校の設置候補地について説明
- 平成25年6月24日 県教育委員会定例会において、榛南地区特別支援学校の敷地を県立吉田高等学校の敷地とすることを決定
- 平成26年1月23日 県教育委員会定例会において、榛南地区特別支援学校の校名案を「静岡県立吉田特別支援学校」に決定
- 平成26年3月2日 県立吉田高等学校閉校式
- 平成26年3月19日 県議会2月定例会において「静岡県立学校設置条例の一部を改正する条例」が議決され、校名が正式に「静岡県立吉田特別支援学校」に決定
- 平成26年4月1日 県立藤枝特別支援学校に「静岡県立吉田特別支援学校設置準備委員会」を設置
- 平成26年7月17日 開校および校舎改修等工事に係る地元説明会
- 平成26年7月 校舎改修工事着工
- 平成26年10月21日 「静岡県立吉田特別支援学校設置準備委員会」第5回委員会において校章を決定
- 平成27年3月19日 校舎改修等工事完了（特別教室等、管理教室等、本館校舎、体育館）新築（スロープ棟、エレベータ棟、バス昇降所、プール）
- 平成27年4月1日 静岡県立吉田特別支援学校設置
- 平成27年4月10日 始業式（小学部53人 中学部38人 高等部23人）・入学式挙行
- 平成27年4月15日 開校記念式典挙行
- 平成28年3月10日 第1回 高等部卒業証書授与式挙行
- 平成28年3月18日 第1回 小学部・中学部卒業証書授与式挙行
- 平成28年11月16日 校歌制定（作詞：校歌プロジェクト委員会、作曲：栗林 均）

(2) 組織図



## 【駿遠分教室】



## 2 目指す学校像

### 【本校】

#### (1) めざす姿

小学部 「げんきに なかよく すすんで 活動する子ども」

中学部 「自ら動き 仲間とともに 自信をもって 生活する生徒」

高等部 「地域の中で、自分らしく全力で力を発揮する生徒」

(卒業後、地域で自分らしく力を発揮して豊かに生活できる人を目指して)

#### (2) 目標具現化の柱

【安全・安心】 児童生徒が命を守り、多様性と人格を認め合う教育活動の推進  
事故や大規模災害等の危機管理体制の強化と情報共有

【授業】 新学習指導要領を踏まえた指導技術や実践力、専門性のレベルアップ  
ICT教育に対する理解向上

【連携】 社会に開かれた教育課程の実現を目指した地域・学校・家庭の連携強化  
自己実現を図るためのキャリア教育の充実  
共生社会の実現に向けた地域コミュニティ・スクールの実施

### 【駿遠分教室】

#### (1) めざす姿

小学部 「自分の目標に向かって、周囲の人と共に、進んで取り組むことができる子」

中学部 「仲間と一緒に、最後まで取り組むことができる生徒」

#### (2) 目標具現化の柱

【安全・安心】 自他を尊重する心情と互いに認め合う態度や人権感覚の向上  
児童生徒が安全に安心して生活し、活動できる教育環境の整備  
事故や大規模災害等に備える危機管理体制の再確認と情報共有

【授業】 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導技術や実践力、チーム力のレベルアップ

児童生徒が自分の目標に向かって「いきいき・なかよく・すこやかに」学び伸びゆく授業改善  
自立と社会参加に向けたつながりのある指導の充実

【連携】 つながり合う関係づくりを目指した地域・学校・家庭の連携強化  
学校や児童生徒について、地域への理解啓発

## 3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

### (1) 3年度の取組目標への評価及び成果と課題

【本校】(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア 安 全 ・ 安 心	自他を尊重する心情 と互いに認め合う態 度や人権感覚の向上 【人権感覚の更なる向上】	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権意識のチェックシートの項目を常に念頭に置き、人権を意識した指導ができたと答える教職員 100%</li> <li>いじめアンケートや人権・道徳教育を通して児童生徒が安心できる環境作りができたと答える教職員 100%</li> </ul>	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権チェック等をもとに自分自身を振り返り、常に意識して指導や支援にあたった。</li> <li>道徳の評価については、教務課等とも連携し、より具体的に示せるようにしたい。</li> </ul>
	児童生徒が安全に安心して生活し、活動できる教育環境の整備 【教育環境の整備】	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健、医療的ケア、給食、体育等の重大事故発生0件</li> <li>「ヒヤリハット等の情報を環境整備に活用した」と答える教職員 100%</li> </ul>	重大事故発生：0件 99%		

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
	事故や災害等の危機管理体制の強化と情報共有 【危機管理体制の整備と改善】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「危機管理マニュアルを確認し事故対応や訓練を行った」と答える教職員 100%</li> <li>「研修や掲示板等の情報を活用して業務を行うように努めた」と答える教職員 100%</li> </ul>	100% 98%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理マニュアルを確認し訓練に臨むことで、様々な災害への備えが強固になった。</li> <li>研修したことが授業づくりに生かされている。</li> </ul>
	教職員が働きやすい職場になるよう明るい職場づくりと業務改善 【業務改善と明るい職場づくり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「校務や会議を効率よく行い、授業準備や事務処理の時間に活かされた」と答える教職員 80%</li> <li>「働きやすい職場である」と答える教職員 80%</li> </ul>	96% 100%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ガイドライン」が分かりやすく、有効であったので継続していきたい。</li> <li>思いやりのある職場であると全職員が感じている。</li> </ul>
イ 授 業	新学習指導要領を踏まえた指導技術や実践力、チーム力のレベルアップ 【教科の見方・考え方を踏まえた授業改善・専門性の向上】	<ul style="list-style-type: none"> <li>学部ごとの授業研究 年2回以上</li> <li>学部及びグループでの研修が新学習指導要領を踏まえた授業づくりに役立ったと答える教職員 90%以上</li> <li>大学教授を招聘した講演会 年2回</li> </ul>	年2回実施 100%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業づくりの必要な視点（単元目標の焦点化、解決したい課題や問い、般化の場面想定）の理解が深まった。</li> <li>一人一授業を実施し、教員一人一人が授業改善に向き合えた。</li> </ul>
	自立活動6区分27項目を活用した実態把握→課題→目標設定の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>「個別のプロセス図の研修を受けて根拠のある目標設定ができた」と答える教職員 100%</li> <li>I C Tに関する学習会や実践事例の紹介等の実施 年2回</li> </ul>	98% 年2回実施	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別のプロセス図は児童生徒について複数の教員が共通理解するツールとして適切である。</li> <li>夏季休業中ではなくもっと早い時期に学習会を開くようにする。</li> </ul>
	I C T教育に対する理解向上 【個別の教育支援計画や個別の指導計画とつながった授業づくりと観点別評価】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自立活動の6区分27項目を意識して、個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成することができた」と答える教職員 100%</li> <li>「個別の指導計画の内容について理解できた」と答える保護者 90%</li> </ul>	97% 98%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動の視点の大切さについて意識できるようになった。</li> <li>子どもの成長段階にあった目標が立てられている。</li> <li>子どもが自分のことは自分であるようになった。</li> </ul>
	健康・安全への意識・知識・行動力等 命を守る力の育成 【命を守る力の育成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>12年間のつながりを基に、個々や集団の実態に合った授業づくりを実施し、「柔軟性・投力の維持向上ができた」と答える教職員 90%</li> </ul>	78%	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導方針が明確であったため、共通理解しやすく、指導内容についても深く考えられた。</li> </ul>
	児童生徒が一人一人の夢に向かって「いきいき・なかよく・すこやかに」学び合う授業改善 【主体的・対話的で深い学びの視点や教科の見方・考え方を踏まえた授業改善】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「CMマップや全体計画を確認しながら、年間指導計画の作成ができた」と答える教職員 100%</li> <li>「年間指導計画が保護者と共有された」と答える教職員 90%</li> </ul>	97% (面談実施者) 80%	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>CMマップや自立活動内容表を見ることが浸透してきている。</li> <li>少ない面談回数と時間の中で説明は難しい。</li> </ul>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「お話の会、読書週間、学級文庫の取組が本親しむために有効だった」と答える教職員 90%</li> </ul>	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動図書の見学は図書室に行けない子どもたちも楽しめるものであった。</li> </ul>
ウ 連 携	<p>つながり合う関係づくりを目指した地域・学校・家庭の連携強化 【センター的機能の充実】</p> <p>自己実現を図るための12年間のつながりのある指導の充実 【キャリア教育の推進】</p> <p>【つながり学習の実践】</p> <p>学校や児童生徒について地域への理解啓発</p> <p>共生社会の実現に向けたコミュニティ・スクールの実施 【地域への理解啓発】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニーズに応じたケース会議や学習会を設定したり、情報共有したりして、「必要に応じて関係機関と連携して取り組んだ」と答える教職員 80%</li> <li>ニーズに応じた保護者学習会の実施（各学部1回）</li> </ul>	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケース会により支援の方向性が定まり、アプローチや改善につながった。</li> <li>行き詰まり感のあるケースは、様々な視点で捉えなおす。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「つながり学習の目的や内容を理解し、実践した」と答える教職員 90%</li> </ul>	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ・スクールが児童生徒の学びに大変有効だった。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「本校のキャリア教育について理解でき、将来の目指す姿から現時点での目標や課題（支援内容）、役割分担等を設定して保護者と話ができる」と答える教職員 80%</li> </ul>	95%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育課から発信される情報をもとに保護者や生徒と話ができる。</li> <li>職員研修やミニ進路学習会の情報が分かりやすく、自分の理解につながり、生徒への指導につながった。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方々に向けた作品展を実施して、「児童生徒についての理解啓発につながった」と思える教職員 80%</li> </ul>	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のいろいろな方に見てもらえた。</li> <li>展示への工夫の余地がある。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員、保護者、相手校それぞれに対して理解を促す取組年2回以上</li> <li>「ホームページは本校について理解を促す分かりやすい内容になっている」と答える教職員 80%</li> <li>学部1回以上</li> </ul>	<p>年2回以上</p> <p>97%</p> <p>各学部1回以上</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目が増えたことでより分かりやすくなった。</li> <li>個人情報に厳しいうちであり、工夫して情報提供されている。</li> </ul>



【駿遠分教室】

3年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア 安全	児童・生徒が安全で安心して生活し、活動できる環境の整備 【教育環境の整備】 【人権感覚の醸成】	・重大事故発生0件 ・月1回の安全点検と環境整備の実施 ・ヒヤリハットの速やかな周知と危険予知トレーニングの実施（3回）	・重大事故発生0件 ・安全点検の実施100% ・ヒヤリハットの情報提供と危険予知トレーニング（30回）	A	・4月の防災マニュアルの確認や月1回の安全点検の実施など危機管理を意識し、環境整備を行った。 ・毎週日番によるヒヤリハットの情報提供は、状況に応じた対応能力の向上に役立てることができた。
		・毎朝の健康状態の確認 ・「感染症防止対策・指導に取り組んでいる」と答える教職員100%	・学園や保護者と毎朝の健康状況の確認 90%	A	・学園との朝の健康観察の連絡、手洗いや消毒の徹底など「新しい生活様式」に基づき衛生環境を整えることができた。児童生徒も手洗いや消毒、マスクの着用、黙食など感染予防の意識が高まった。
	自他を尊重する心情と互いに認め合う態度や人権感覚の向上 【人権感覚の更なる向上】	・「人権チェックシートの項目を常に意識して指導ができた」と答える教職員100% ・「児童生徒が互いの良さを認め合う環境づくりができた」と答える教職員100%	88% 85%	A	・定期的な人権チェック、夏の人権研修等とおして、「くん・さん呼び」、着替え時の配慮した対応など、年間をとおして、児童生徒の人権を意識しての指導ができた。
		・いじめ等に関するアンケートの実施と結果への対応 年2回	・計画通りアンケートを実施し、対応した。	A	・アンケート以外にも子どもから訴えがあった時には速やかに対応した。 ・人権と生徒同士の関係を考慮した環境設定を心掛けた。
大規模災害等に備える危機管理体制の再確認と情報共有【学校安全の強化】	・「危機管理体制とマニュアルを確認し対応への理解が深まった」と答える教職員100%	82%	A	・実践的な防災訓練等をとおして、約束やルートを守り避難できたり、落ち着いて行動できたりする児童生徒が増えた。今後は、救助係が救助に当たるなど実践的な訓練も取り入れていきたい。	

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
	教育公務員としての倫理観の向上【不祥事根絶】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報紛失0件</li> <li>・交通加害事故・交通事犯0件</li> <li>・「教育公務員であることを自覚して行動している」と答える教職員100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報紛失0件</li> <li>・交通加害事故・交通事犯0件</li> </ul> 100%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなで、考えよう不祥事根絶」を合言葉にアイデアを出し合った。「不祥事根絶」を全員が意識し、取り組めた。</li> <li>・職員安全衛生委員会では、テーマを設定し、全員が風通しの良い職場づくりを考え、実践できた。</li> </ul>
	教職員が働きやすい職場になるための明るい職場づくりと業務改善【業務改善と明るい職場づくり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「職員の業務改善と明るい職場づくりへの意識が高まり、働きやすくなった」と答える教職員90%</li> </ul>	90%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒下校後の時間の使い方や空き時間の確保など、学部で協力して有効に時間を使っている。会議も事前に資料を配布するなど、効率化に努めている。</li> </ul>
イ 授業	自立活動6区分27項目を活用した実態把握と個別の教育支援計画・個別の指導計画の実施状況の評価と改善【カリキュラム・マネジメント】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動6区分27項目を意識して個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成できた」と答える教職員90%</li> <li>・個別の指導計画の内容について理解できた」と答えた保護者90%</li> </ul>	90%  90%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校から講師を招き、研修会を行ったり、学部で研修したりする中で、自立活動実態表の見方が分かってきた。一方向からのアプローチではなく、多方向からの支援が必要であることに気付き、幅広く、厚い支援ができるようになった。</li> </ul>
	新学習指導要領を踏まえた指導技術や実践力、チーム力のレベルアップ児童生徒が自分の目標に向かって「いきいき・なかよく・すこやかに」学び伸びゆく授業改善 ICTの積極的活用【資質・能力の育成を旨とした授業改善】 【専門性の向上】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「深い学びと各教科等の見方・考え方への理解が高まり授業づくりに取り入れた」と答える教職員90%</li> <li>・「ICT教育への理解が向上し、学習でICTの活用が増えた」と答える教員80%</li> </ul>	100%  100%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前・事後研修では活発な協議が行われ、「深い学び」につながるキーワードが整理できた。更なる「深い学び」の実践においては授業評価を充実していきたい。</li> <li>・情報課を中心にiPadを利用した研修を進めた。興味・関心を示す児童生徒も増えた。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究 各学部2回</li> <li>・「児童生徒の確かな成長（資質能力の向上・目標達成）につながる授業づくりができた」と答える教員90%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究 各学部2回実施</li> <li>・一人一授業</li> </ul> 100%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の「資質の向上」をポイントに研修会が繰り返し行われた。一つの授業だけでなく、「他教科との関連」、「生活面とのつながり」など広い視野で児童生徒を見ることができた。</li> </ul>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
	スポーツへの興味・関心と体力の向上 【体力向上の推進】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「体育の授業が楽しい・好き」と答える児童生徒 80%</li> <li>「児童生徒の体力の向上が実感できる」と答える教員 90%</li> </ul>	100%  100%	A	・ダンスやテニスやボールなどニュースポーツを取り入れ児童生徒の興味や関心を引き出すことができた。自然に体を動かし、運動を楽しむ児童生徒が増えた。
	自立と社会参加に向けたつながりある指導の充実 【キャリア教育の推進】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「身近処理や清掃活動に関する個々の目標を取り通理解して取り組む、達成することができた」と答える教員 90%</li> </ul>	90%	A	・保健課より食事や排泄などの資料を提供し、支援に役立てた。個別の指導計画と支援のつながり、成長段階を意識した支援など、学部毎の「押さえ」を共通理解して、支援を進めたい。
ウ 連 携	つながり合う関係づくりを目指した地域・学校・関係機関・家庭との連携強化 【センター的機能の充実】 【連携・協働の充実】 【共生社会への取組】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「教育活動の中で、地域や関係機関、家庭とのつながりを生かすことができた」と答える教員 90%</li> </ul>	90%	A	・児童相談所や市教委、福祉課等と定期的にケース会議や連絡を取り合う中で、家庭の状況やニーズ等を把握し、支援に役立てた。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校間交流や地域資源を活用した学習の実施 12回以上</li> <li>「地域と児童生徒のつながりや役割立ち方を考えて働きかけができた」と答える教職員 90%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校間交流 3回</li> <li>地域学習 8回</li> <li>写真展 2回</li> <li>地域散策等 25回</li> </ul> 75%	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校間交流は、リモートでの開催となった。発表方法を工夫することで、地域の友達の様子を知ることができ、良い機会となった。</li> <li>中学部の写真展（2回実施）は、生徒の活躍の場が広がるとともに地域の方とつながる良い機会となった</li> </ul>
	個人情報保護に配慮した積極的な情報発信 【外部への理解・啓発】	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ掲載、回覧板・ポスターによる教育活動の紹介 12回以上</li> <li>ホームページによる作品紹介と校外作品展への出品 5回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ 37回</li> <li>「すんえんだより」 6回発行</li> <li>図美作品紹介 ホームページ 15回 夢づくり会館 2回</li> </ul>	A	・作品展やお便り、ホームページ等で児童生徒の様子を数多く紹介できた。今後、「COCOO」や他のメディアの利用など、発信方法も探っていきたい。

(2) 令和4年度の取組目標・達成方法・成果目標

【本校】本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）\*「業務改善」についても記入する。

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 安心・安全	児童生徒が命を守り、多様性と人格を認め合う教育活動の推進 【人権教育、道徳教育、情報教育】	「自分を大切にし、同じように他人も大切にすることができる児童生徒」の育成を目指した人権教育、道徳教育、情報教育を実施する。 自他を大切にすることをコミュニケーションの指導を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分を大切にし、同じように他人も大切にできた」と答える児童生徒、教職員100%</li> <li>・「校内であいさつや感謝の言葉がよく聞かれる」と答える教職員100%</li> </ul>	生徒指導課 (人権教育推進委員会、生徒指導対策委員会) 各学部
	児童生徒が安全に安心して生活し、活動できる教育環境の整備 【教育環境の整備】	保健、医療的ケア、給食、体育等の情報を自分事として捉えるよう呼びかけ、対応について教職員個々が考え「新しい生活様式」を踏まえた安全で衛生的な環境整備と改善策の徹底を図る。 医療的ケアを必要とする児童生徒の共通理解ができる研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健、医療的ケア、給食、体育等の重大事故発生0件</li> <li>・「ヒヤリハット等の情報を環境整備に活用した」と答える教職員100%</li> <li>・医療的ケアの希望研修1回ミニ学習会1回を実施し、研修後、「理解できた」と肯定的に答える教職員90%</li> </ul>	保健給食課 保健体育課 養護教諭 栄養教諭 (医療的ケア委員会、アレルギー対応委員会) 生徒指導課
	事故や大規模災害等の危機管理体制の強化と情報共有 【危機管理体制の整備と改善】	様々な事故や大規模災害、情報資産管理等への適切・迅速な行動を共通理解し、PDCAサイクルに基づいて危機管理マニュアルを随時更新する。 個人情報管理や交通安全、会計処理等に関する研修および掲示板による情報提供と共有をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「危機管理マニュアルを確認し事故対応や訓練を行い行動できた」と答える教職員100%</li> <li>・「研修や掲示板等の情報を活用して業務を行うように努めた」と答える教職員100%</li> </ul>	防災教育課 (防災対策委員会) 生徒指導課 保健給食課 教務課(情報係) 事務部
	心にゆとりがあり、教育公務員としての自覚と仲間を大切にしている姿勢をもった教職員【業務改善と明るい職場づくり】	互いを思いやれる働きやすい職場づくりを推進する。 教職員一人一人が働き方改革の意識を持ち、業務や会議の能率化と精選を進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の役割を自覚し、仲間と連携することができた」と答える教職員100%</li> <li>・「働き方改革の意識をもってワークライフバランス向上のために取り組んだ」と答える教職員90%</li> </ul>	夢づくり委員会 各学部
イ 授業	学習指導要領を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る指導技術や実践力専門性のレベルアップ  ICT教育に対する理解向上	学習指導要領の内容を踏まえ、学部及びグループ研修を推進し、児童生徒の学びを的確に評価することができる授業改善を実施する。(評価規準の設定やICTの活用等) 一人一授業の実施 自立活動におけるICT教育の実践及び参考事例の紹介をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部ごとの授業研究年2回以上</li> <li>・「個別の指導計画に基づいて行われた学習状況や成果を適切に評価し、目標や指導内容、指導方法の改善に努めることができた」と答える教職員100%</li> <li>・大学教授を招聘した講演会年2回</li> <li>・ICTに関する学習会や実践</li> <li>・事例の紹介等の実施年2回</li> </ul>	研修課 研修推進委員会 教務課 自立活動課 (ICT指導力向上委員会)

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
	12年間を見通したつながりある年間指導計画の作成と授業づくり【個別の教育支援計画や個別の指導計画とつながった授業づくりと観点別評価】	12年間を見通して年間指導計画の作成。 日頃の指導から得た児童生徒の情報を自立活動の6区分27項目の視点から整理し、根拠のある目標設定や見直しを行う。（「個別のプロセス図」の作成・見直し）。 日々の児童生徒のあらわれを観点別評価で記録に残し、個別の指導計画に反映できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「年間指導計画の作成ができた」と答える教職員100%</li> <li>・「個別のプロセス図の研修を2回実施し、根拠のある目標設定や見直しができた」と答える教職員100%</li> <li>・「自立活動の6区分27項目を意識して、個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成することができた」と答える教職員100%</li> <li>・「観点別評価の日々の記録を各学部で整理し、個別の指導計画に反映できた」と答える教職員90%</li> <li>・児童生徒の体力の維持向上が実感できる」と答える教職員90%</li> <li>・「お話の会、読書週間、学級文庫の取組を通して、児童生徒が読書の楽しさや喜びを味わうことができた」と答える教職員90%</li> </ul>	自立活動課 教務課（情報係） カリキュラムマネジメント委員会 各学部  保健体育課  各学部 図書表現課
	生涯学習（スポーツ、文化芸術等）につながる教育活動の充実	小中高12年間の積み上げをもたせ走力及び身体能力の記録向上を目指し、個々や集団の実態に合った授業を实践する。表現力や想像力を高めるために、読書できる環境を整え、読書活動を推進する。		
ウ 連 携	社会に開かれた教育課程の実現を目指した地域・学校・家庭の連携強化【センター的機能の充実】	保護者や関係機関等からの進路相談や要望等に対し、それぞれの役割を明確にして、連携する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズに応じたケース会議や学習会を設定したり、情報共有したりして、「必要に応じて保護者や関係機関と連携して取り組んだ」と答える教職員90%</li> <li>・ニーズに応じた保護者学習会の実施（各学部1回）</li> </ul>	地域連携課 キャリア教育課 各学部
	自己実現を図るためのキャリア教育の充実【キャリア教育の推進】	キャリアパスポートや進路希望調査、CMマップ等を活用し、自己実現に向けて、児童生徒が目標をもって、卒業後の見通しを持った実践を行う。 進路コーナーの設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「キャリア教育について理解でき、将来の目指す姿から現時点での目標や課題（支援内容）、役割分担等を設定して保護者と話げできた」と答える教職員80%</li> </ul>	キャリア教育課 各学部 教務課
	共生社会の実現に向けたコミュニティ・スクールの実施【地域への理解啓発】 【つながり学習の実践】	児童生徒の作品や日頃の学習活動を、校外へ積極的に発信する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々に向けた作品展や日頃の学習活動を実施して、「児童生徒についての理解啓発につながった」と答える教職員90%</li> </ul>	図書表現課 各学部
		交流籍を活用した交流及び共同学習で互いに学びがある交流体制を拡充する。 ホームページの内容を見直し、効果的な情報発信をする。 「つながり学習」を「地域資源（人的・物的）を活用した学習」と捉え各学部の押さえを共通理解して授業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流籍等の実施後のアンケートで「互いに目的を達成できた」と答える本校と相手校80%</li> <li>・「ホームページは本校について理解を促す分かりやすい内容になっている」と答える教職員80%</li> <li>・「つながり学習の目的や内容を理解し、実践した」と答える教職員90%</li> <li>・各学部1回以上</li> </ul>	地域連携課 教務課（情報係） 各学部

【駿遠分教室】（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 安 全 ・ 安 心	<b>自他を尊重する心情と互いに認め合う態度や人権感覚の向上</b> 【人権感覚の更なる向上】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権に関する研修会(年2回)と定期的な人権チェック(年5回)</li> <li>・「互いの良さを認め合える児童生徒」の育成を目指した道徳教育の実践                          全校集会での読み聞かせ(年8回)                          年間計画に取り入れた計画的実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人権チェックシート」の項目を常に意識して指導ができた」と答える教職員100%</li> <li>・「児童生徒が互いの良さを認め合う関わりができた」と答える教職員100%</li> </ul>	生徒指導課 人権道徳教育推進委員会 各学部
	<b>児童生徒が安全に安心して生活し、活動できる環境の整備</b> 【教育環境の整備】 【健康管理体制の強化】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険予知の視点から定期的な安全点検と施設整備(12回)</li> <li>・日常の生活で起こるヒヤリハットの情報交換と危険予知トレーニングの実践(10回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重大事故発生 0件</li> <li>・「児童生徒にとって、安全で安心な生活環境を整えることができた。」と答える教職員90%</li> </ul>	防災課 保健食育課 各学部
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新しい生活様式」に基づき、毎朝の健康状態の確認</li> <li>・日々の衛生環境の整備及び対応の周知・実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「感染症防止対策・指導に取り組んでいる」と答える教職員100%</li> </ul>	保健食育課 各学部
	<b>事故や大規模災害等に備える危機管理体制の再確認と情報共有</b> 【学校安全の強化】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な災害を想定し、各係が実戦的に動く活動を取り入れた避難訓練(5回)、</li> <li>・マニュアルの周知と多様な犯罪を想定しての防犯訓練(2回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「危機管理体制とマニュアルを周知し、事故・災害時に児童生徒を安全に避難できる対応や体制整備ができた。」と答える教職員100%</li> </ul>	防災課 生徒指導課 保健食育課
	教育公務員としての倫理観の向上 【不祥事根絶】  教職員が働きやすい職場の環境づくり 【業務改善と明るい職場づくり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不祥事(情報漏洩、交通事犯、会計処理等)「0」を目指し、計画に沿った研修と日々の呼びかけの実施。</li> <li>・業務改善アンケートの実施                          職員の負担感が軽減するよう業務の効率化と会議の精選を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報紛失0件、交通加害事故・交通事犯0件</li> <li>・「教育公務員であることを自覚して行動している」と答える教職員100%</li> <li>・「職員の業務改善と明るい職場づくりへの意識が高まり、働きやすくなった」と答える教職員90%</li> </ul>	職員安全衛生委員会 情報課
イ 授 業	新学習指導要領を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導技術や実践力、チーム力のレベルアップ 【資質・能力の育成を目指した授業改善】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」について研修会の実施(12回)6月、11月の研究授業(各学部1回)</li> <li>・一人一授業の実施</li> <li>・観点別目標設定と学習・授業評価のための資料作成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「深い学び」についての理解が深まり、授業改善ができた」と答える教員90%</li> </ul>	研修課 研修推進委員会 自立活動科 教務図書課 コーディネータ 各学部
	児童生徒の的確な実態把握 【児生：基本的生活習慣の確立】 【職：専門性の向上】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動6区分27項目を活用した実態把握表をもとに個別の教育支援計画・指導計画の目標設定の研修会の実施(3回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動実態把握表をもとに個別の教育支援計画・指導計画を作成し、分かりやすく保護者の説明できた。」と答える教員90%</li> </ul>	

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
	ICT教育の推進 【専門性の向上】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動、国算（数）、生活単元学習等における、ICTを活用しての教育の実践。（児生：年10回以上）</li> <li>・情報課によるアプリの紹介や活用方法の紹介（10回）</li> </ul>	「ICT教育への理解が深まり、ICT機器を活用した授業を実践できた。」と答える教員80%	ICT教育推進委員会 情報課 各教科部 各学部
	9年間を見通したつながりのある段階的押さえの作成と授業づくり 【カリキュラム・マネジメント】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムマネジメント委員会の実施（5回）</li> <li>9年間を見通しての段階的押さえの作成と学部間のつながりの検討。</li> </ul>	・9年間の段階的な押さえを基に、年間計画を見直し、生活単元学習における学習内容が、生活年齢や発達段階に応じた構成になった。」と答える教員90%。	カリキュラムマネジメント委員会 教務図書課 各学部
	自己実現を図るためのキャリア教育の推進 【キャリア教育の推進】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育推進委員会におけるキャリア教育研修会の実施</li> <li>・キャリア教育全体計画の作成</li> <li>・キャリアパスポートの作成と授業における活用（3回）</li> </ul>	・「キャリア教育について理解でき、児童生徒の将来を見据えた学習や支援を進めることができた。」と答える教員90%	キャリア教育推進委員会 各学部
	魅力ある体育指導の実践と児童生徒のスポーツへの興味・関心、体力の向上 【体力向上の推進】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「体育指導一覧表」に基づいて年間指導計画を立て、個々や集団の実態に合った授業を実践。</li> <li>・ダンスやニュースポーツ等を取り入れた魅力的な授業を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的で魅力ある授業を実践し、児童生徒の技能や体力が向上した」と答える教員90%</li> <li>・「体育の授業が楽しい・好き」と答える児童生徒80%</li> </ul>	体育課
ウ 連 携	つながり合う関係づくりを目指した地域・学校・関係機関・家庭との連携強化 【センター的機能の充実】 【共生社会への取組】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・併設施設との日々の連絡と支援会議の実施（年10回以上）</li> <li>・保護者面談の実施（年3回）情報を共有して指導に生かす。</li> <li>・地域資源を活用した様々な交流の実施 学校間・居住地交流 10回以上 地域学習 6回以上 魅力ある体験（ピアノコンサート ドラムサークル ラグビー教室等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育活動の中で、地域や関係機関、家庭とのつながりを生かすことができた」と答える教員90%</li> <li>・「地域と児童生徒のつながりや役立ち方を考えて働きかけができた」と答える教職員90%</li> </ul>	教務図書課 コーディネーター 各学部  音楽部 コーディネーター 生徒指導課 各学部
	学校や児童生徒について、地域への理解啓発 【外部への理解啓発】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ掲載、回覧板・ポスターによる教育活動の紹介 12回以上</li> <li>・ホームページによる作品紹介と校外作品展への出品5回以上</li> </ul>	・「日頃の学習の成果を保護者や地域の方に啓発できた」と答える教員90%	情報課 図工・美術部

4 監査対象期間における特色ある取組

【本校】

年度	取組概要	成果及び課題
3年度	<b>【カリキュラム・マネジメント委員会】</b> ・新学習指導要領を踏まえた指導技術や実践力、チーム力のレベルアップ	・GIGA スクール構想の推進、個別のプロセス図の浸透、新学習指導要領に基づく個別の指導計画の在り方等の学校運営上の喫緊の課題に対し、問題点を共有し、グループ討議を中心に行い、一つ一つ解決策を見出した。
	<b>【未来の学校 夢づくり委員会】</b> ・教職員が働きやすい職場になるよう明るい職場づくりと業務改善事務処理の確保	・校務の効率化、会議の効率化、働きやすい環境整備等に向けて、できることを検討したり、取組を働きかけたりして、業務改善と明るい職場づくりに取り組んだ。退勤時刻も概ね改善傾向にあるが、子どもと向き合う時間を生み出すことが、真の目的であることを意識したい。
4年度	<b>【カリキュラム・マネジメント委員会】</b> ・新学習指導要領を踏まえた指導技術や実践力、チーム力のレベルアップ	・12年間のつながりがある年間指導計画を作成するために、各学部、学年で育てたい力について検討をしていく。新学習指導要領に基づく個別の指導計画の在り方等の学校運営上の喫緊の課題に対し、問題点を共有し、検討を継続する。
	<b>【未来の学校 夢づくり委員会】</b> ・教職員が働きやすい職場になるよう明るい職場づくりと業務改善事務処理の確保	・子供と向き合う時間の確保のために、校務の効率化、会議の効率化、働きやすい環境整備等に向けて、できることを検討したり、取組を働きかけたりして、業務改善と明るい職場づくりに取り組む。

【駿遠分教室】

年度	取組概要	成果及び課題
3年度	・大規模災害等に備え、駿遠学園と連携した危機管理体制の整備と様々な自然災害等を想定しての実際的な訓練の実施と情報の共有	・危機管理マニュアルを読み合い、全職員で内容を周知するとともに、継続的に訓練等を行う中で、情報伝達の仕方や避難方法等を修正・改善できた。
	・「深い学び」「各教科等の見方・考え方」について職員研修を充実し、共通理解をして授業づくりに取り入れる。	・外部講師を招いての学習会や学部ごとのPDCAサイクル、全体研修などを重ねる中で、「深い学びの姿」を学校として共有し、その姿につなげるための支援について話し合いを行うことができるようになった。「学びの想定用紙」を活用し、授業や単元の中での児童生徒の変容を追っていき、深い学びにつなげるための支援として有効であったものを共有することができている。



年度	取組概要	成果及び課題
	<p>【地域とのつながりを大切にした交流教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でできることが制限されてきたが、これまでの地域とのつながりを大切に、地域の方から学び、また地域の良さを探求し、発信する取組を行う。</li> <li>・同年代の児童生徒との関わりを広げるために、小・中学校との交流及び共同学習を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学部が地域に出て、地域の良いところを見つけ、感じたことをメモしたり、写真に撮ったりし、地域の駅舎を利用して地域への発表につなげることができた。</li> <li>・榛北地区各4校の小中学校とリモートを活用して、五校交流を行った。リモートではあったが、互いの得意なことを発表し合うことで、相手を意識した活動をする機会となり、交流そのものに期待をする児童生徒の姿が多くみられた。「プレゼントをしよう」と作品を作る姿や、手紙をもらって喜ぶ姿など、制限のある中ではあったが次年度につなげる交流として効果的であった。</li> </ul>
4年度	<p>日常の生活で起こるヒヤリハットの情報交換と危険予知トレーニングの実践</p> <p>9年間を見通したつながりのある段階的押さえの作成と授業づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週に一度、職員が輪番で「ヒヤリハット」として日常の中での危険な場面について発表を行っている。校内の環境であったり、通勤時の出来事であったりと実際の経験の中からのスピーチであるため、自分事として捉えやすく職員の安全意識につながっていると思われる。また、新しい学習や校外学習などのスタート時に危険予知トレーニングを行うことで、事前に危険を回避できるよう取り組んでいる。まだ習慣とはならず、職員への投げかけが必要な段階である。</li> <li>・カリキュラム・マネジメント委員会の中で、分教室の教育課程についての話し合いを行った。小規模な分教室ならではの学習計画の難しさを確認したうえで、小学部6年間、中学部3年間での最終学年に目指す姿を話題とし、そのために各学年で何を押さえるべきかどのような教育活動が必要かを表としてまとめている。</li> </ul>

5 教職員について

(1) 令和3年度異動状況

(単位:人)

区分	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	事務長	主査	主任	主事	小計	教諭(任)	教諭(臨)	養護教諭(臨)	会計年度任用職員					小計		
															非常勤養護教諭	非常勤講師	非常勤講師(看護)	非常勤労務職員	非常勤嘱託員			
本校	転出者	1	1		20	1			1	1		25	1	3								4
	退職者				2							2						1	3	1		5
	再任用(退職)				1							1										0
	転入者	1	1		20	1			1	1		25	1	1								2
	新任者				2							2		1					1	2		4
	再任用(フル)											0										0
	再任用(ハーフ)											0										0
	差引増減	0	0	0	△ 1	0	0	0	0	0	0	△ 1	0	△ 1	0	0	0	0	0	△ 1	△ 1	△ 3
分教室	転出者			1	1						2											0
	退職者				1						1					1						1
	転入者				1						1											0
	新任者				1						1					1						1
	差引増減	0	0	0	△ 1	0	0	0	0	0	0	△ 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
増減合計	0	0	0	△ 2	0	0	0	0	0	0	△ 2	0	△ 1	0	0	0	0	0	△ 1	△ 1	△ 3	

(2) 現員数

(令和4年8月31日現在)

区分	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	事務長	主査	主任	主事	教諭(任)	教諭(臨)	非常勤養護教諭	非常勤講師	非常勤講師(看護)	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	合計
本校	男	1		29			1				2	4				5		42
	女		1	1	58	2	1	2	1		2	2			3	4		77
	計	1	1	1	87	2	1	1	2	1	0	4	6	0	0	3	9	0
分教室	男			4												2		6
	女			1	4						1		1				1	8
	計	0	0	1	8	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	1	14
合計	1	1	2	95	2	1	1	2	1	0	5	6	1	0	3	11	1	133

(3) 健康管理について

ア 健康管理の推進

- (ア) 健康診断の全員受診を推進し、疾病の早期発見に努める。
- (イ) 精密検査や治療等の事後措置を徹底させ、各自の健康管理を促している。
- (ウ) 職員安全衛生委員会を毎月開催し、2月には健康管理医の指導・助言を仰ぐ。
- (エ) 毎朝始業時に「腰痛予防ストレッチ体操」を行い、腰痛予防の推進に努めている。

イ 健康診断の実施項目(令和3年度実績) 本務者及び臨時講師

項目	対象者	対象者数
結核検診 生活習慣病健診	全職員(指定年齢検診、人間ドック受診者及び特別 休暇中の者は除く)	(本校・分教室) 66
指定年齢健診	40、45、50、55、59歳	(本校・分教室) 10
人間ドック	35、38、41、42、43、44、47、48、49、51、52、53、 54、56、57、58歳の希望者	(本校・分教室) 46
婦人科検診	20歳以上の偶数年齢者(指定年齢健診、人間ドック 受診者は除く)	(本校・分教室) 25 (かかりつけ医) 5

(4) 教職員の研修について

【本校】

研修名	研修内容	成果及び課題
授業研究	<p>◆3年度◆</p> <p>[研修目的]</p> <p>・各教科等の見方・考え方を働かせる授業づくりを行うことで、児童生徒が他の場面(次単元、他教科、生活)にも生かせる力を身に付ける。</p> <p>[研修内容]</p> <p>研修テーマ 「夢に向かって『いきいき、なかよく、すこやかに』学び、伸びゆく人を育てる授業づくり」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 単元目標の焦点化を図る</li> <li>2 「解決したい課題や問い」を引き出す工夫の検討</li> <li>3 各教科等の内容との関連を明確にした授業づくり</li> <li>4 児童生徒が思考や表出をしながら活動に取り組むための支援方法の検討</li> <li>5 授業での学びを他の場面で発揮する姿を想定した授業づくり</li> <li>6 授業公開、職員研修の実施</li> </ol> <p>◆4年度◆</p> <p>[研修目的]</p> <p>・目標に対して教師が期待する姿とその日のあらわれを基に振り返りを行うことで、児童生徒の学びを評価するという視点を養うと共に、学習内容の精選や支援方法の充実を図る。</p>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期は、すべての学部が助言者を招聘し、事後研修会を行った。事後研修会のグループ協議で出た意見や助言者からの指導助言を受けて授業改善に生かすことができた。</li> <li>・児童生徒が課題解決に向かう中で、思考や表出をしながら活動に取り組むための支援の工夫について考えることができた。</li> <li>・10月には、明星大学 明官茂常勤教授の講演により、学習評価の重要性や取り組み方、実施するタイミングについて理解を深めることができた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の学びを的確に見取るため、目標を達成した姿を具体的に想定していきたい。授業後の振り返りでは、本時の児童生徒のあらわれと事前に想定した姿から目標を達成できたかどうか、学習内容や支援方法は適当だったか、次回の目標をどのように考えていくかなど、学習評価と授業改善を生かした授業づくりができるようにしていきたい。</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期は、すべての学部が助言者を招聘して、事後研修会を行った。助言者から研修や授業づくりに対する指導助言を受けたり、グループ協議で意見交換をしたりすることで、授業改善ができた。</li> <li>・6月には、静岡大学大学院 小岱和代</li> </ul>

研修名	研修内容	成果及び課題
	<p>[研修内容]  研修テーマ  「児童生徒の『やりたい』『できた』『わかった』の姿を目指した授業づくり」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 単元目標の具体化と期待する姿の想定</li> <li>2 期待する姿に導くための学習内容や支援方法の検討</li> <li>3 振り返りと授業改善</li> <li>4 授業公開、授業研究会の実施</li> <li>5 職員研修の実施</li> </ol>	<p>特任教授の講演により、児童生徒を主体とした授業づくりの考え方や目標設定と学習評価について理解を深めることができた。</p> <p>&lt;進捗&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導案や指導カードの中に、目標に対して期待する姿を記入している。そうすることで、児童生徒が目標を達成したときの姿を具体的に想定したり、期待する姿に導くために必要な学習内容や支援方法を考えたりすることができるようになってきている。</li> <li>・授業後には、期待していた姿とその日のあらわれを比較しながら振り返ることで、事例生徒を対象とした学習評価をすることができるようになってきている。</li> </ul>

	研修名	研修内容	成果及び課題
学校 安全 研修	防災研修	<p>◆3年度◆</p> <p>【研修目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な災害について被害想定と状況、発災時の対応の原則、本校における防災体制・組織的対応について理解し、教職員一人一人が様々な状況における発災時対応について確認する。</li> </ul> <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南海トラフ地震における被害想定、それに対応する本校の防災・減災・備蓄対策について危機管理マニュアルを基に確認する。</li> <li>教職員の参集について、防災応急対策要員動員計画を基に発災時対応を確認する。</li> <li>最新の市町洪水ハザードマップを提示して、風水害に対する備えの必要性の防災対策の基本、情報収集の方法を学び、本校の風水害対策について確認する。</li> </ul> <p>◆4年度◆</p> <p>【研修目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な災害について被害想定と状況、発災時の対応の原則、本校における防災体制・組織的対応について理解し、教職員一人一人が様々な状況における発災時対応について確認する。</li> </ul> <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南海トラフ地震における被害想定、それに対応する本校の防災・減災・備蓄対策について危機管理マニュアルを基に確認する。</li> <li>教職員の参集について、教職員の居住地の現状から防災応急対策要員動員計画を基に、特別参集要員を設け発災時対応を確認する。</li> <li>最新の市町洪水ハザードマップを提示して、風水害に対する備えの必要性の防災対策の基本、情報収集の方法を学び、本校の風水害対策について確認する。</li> <li>校内で発災し、児童生徒の引渡しが必要となった場合の引渡し方法について現実的な方法を考える。</li> </ul>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初に危機管理マニュアルを使って安全研修を実施し、最新の情報を含め様々な災害に対する基本的な対応を確認した。</li> <li>年度当初に危機管理マニュアルの内容を確認する研修を行うことによって、その後の各種防災訓練では各自マニュアルで事前に動きを確認してから参加することができるようになってきた。</li> <li>夏季休業中に職員防災研修を行い、参集基準や参集先、地域における本校の役割と本校災害班の動きを確認し、その上で、地域と協働した防災訓練を実施した。</li> <li>地域と協働した防災訓練を実施し、発災時にマンパワーとして、生徒が避難所設営等に協力できることを発信することができた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策を講じての防災訓練を実施しているため、参加人数が限定されたり、煙体験等の実地訓練が困難だったりする。</li> <li>教職員の風水害対策は実際に行うことができているが、風水害に備えた児童生徒の防災教育を今後計画、実施していく必要がある。</li> </ul> <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初に危機管理マニュアルの内容を確認する研修を行い、発災時の役割について確認を行った。</li> <li>各種防災訓練では、各自マニュアルで事前に動きを確認してから参加することができるように連絡を行った。また、児童生徒には避難訓練の事前事後指導を行っている。</li> <li>避難訓練の前に、本校がどのような地形でどのような位置に建っているか地図を掲示して確認した。</li> <li>災害時の連絡方法について、COCOO配信や171の体験を行った。</li> <li>登校時避難訓練を行い、スクールバス介助員や教職員がDIGを実施した。</li> </ul>

	研修名	研修内容	成果及び課題
学 校 安 全 研 修	人権研修	<p>◆3年度◆</p> <p>【研修目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育に関する知識を深め、指導実践に生かす。</li> </ul> <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県人権教育担当研修会(動画視聴)の内容について、夏期休業日に実施する全職員対象の校内人権研修会にて伝達報告を行った。</li> </ul> <p>◆4年度◆</p> <p>【研修目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育に関する知識を深め、指導実践に生かす。</li> </ul> <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県人権教育担当者研修会(動画視聴)の内容について、夏期休業中に実施する全職員対象の校内人権研修会にて、伝達報告を行った。</li> </ul>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県の人権研修の内容やコロナ禍における誹謗中傷などについて知る機会となった。また、教員一人一人の人権感覚を振り返り、確認することができた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を出し合ったり、発表したりするなどの活動やロールプレイ、実践形式での報告ができないため、報告のみの研修会を行った。実際の指導実践に生かせるまでには至らなかった。</li> </ul> <p>&lt;進捗&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権自己チェック表や人権合言葉などの啓発活動は引き続き継続していく。</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの自己肯定感を高めることで、いじめ問題も起こりにくくなる。学校生活の中で子どもたちが満足できる生活を送れるように支援していくことの大切さを確認することができた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回はコロナ禍ということで、映像を見ながらの研修だったため、グループ協議ができなかった。今後は実際の現場で話題になっている人権問題についてテーマを決めて、グループ協議やロールプレイなどを行い、研修を深められるようにする。</li> </ul> <p>&lt;進捗&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権自己チェック表は学部ごとに毎月実施している。</li> <li>・人権合言葉については、高等部生徒会が決めて、生徒総会のときに報告した。</li> <li>・人権研修については、7月25日に実施。</li> </ul>

研修名		研修内容	成果及び課題
選択研修	進路見学	<p>◆3年度◆</p> <p>【研修目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、生徒が利用している放課後等デイサービスや卒業後に利用している福祉事業所の実状を知り、12年間の繋がりを意識した進路指導(キャリア教育)に生かす。</li> </ul> <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後等デイサービスや福祉事業に訪問し、概要説明を聞いたり、施設や利用者の様子を見学させていただいたりする。</li> </ul> <p>◆4年度◆</p> <p>【研修目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、生徒が利用している放課後等デイサービスや卒業後に利用している福祉事業所の実状を知り、12年間の繋がりを意識した進路指導(キャリア教育)に生かす。</li> </ul> <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後等デイサービスや福祉事業に訪問し、概要説明を聞いたり、施設や利用者の様子を見学させていただいたりする。</li> </ul>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月29日に職員施設見学を実施。</li> <li>・見学施設:放課後等デイサービス4か所、福祉事業所10か所</li> <li>・参加者:キャリア教育課員、地域連携課員、初任者</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染状況を踏まえ、規模や人数を縮小したため、希望者全員の見学が叶わなかった。</li> <li>・見学場所の選定。</li> </ul> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月28日に職員施設見学を実施。</li> <li>・見学施設:放課後等デイサービス5か所、福祉事業所24か所</li> <li>・参加者:キャリア教育課員、地域連携課員、初任者、希望者</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度は希望者の見学が叶わなかったため、今年度は希望者が多く、見学場所の選定、連絡、調整に時間が掛かった。</li> </ul>

【駿遠分教室】

研修名		研修内容	成果及び課題
授業づくり	授業研究	<p>◆3年度◆</p> <p>【研修目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「深い学び」や「教科等の見方や考え方」について、共通理解をして、授業づくりに取り組む。</li> <li>・児童生徒に合ったアプリの選択やより効果的なICT教育の紹介などiPad使った授業作りを行う。</li> </ul> <p>【研修内容】</p> <p>研修テーマ</p> <p>『深い学び』につながる授業づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業公開・授業研究の実施(各学部2回、計4回実施)</li> <li>2 職員研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の研修会に参加</li> </ul> </li> <li>3 情報に関する研修会への参加</li> </ol> <p>◆4年度◆</p> <p>【研修目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R3に見取った深い学びの姿を引き出すために授業評価や授業改善を行う。</li> </ul>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの想定用紙を使い、児童生徒の思考の流れとそれに合った支援を共通理解することができた。研修を進める中で、深い学びの姿を次の4つにまとめることができた。</li> <li>①いつでも、どこでも、誰とでもできる姿。</li> <li>②教科で学んだことを生かしている姿。</li> <li>③失敗から学んでいく姿。</li> <li>④「なんとかしよう。」と試行錯誤する姿。</li> </ul> <p>&lt;進捗&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部研修や小学部の授業研究会の場で授業改善チェックシート15を使用し</li> </ul>

	研修名	研修内容	成果及び課題
		<p>・教師一人一人が児童生徒の深い学びを見取る力を向上させる。</p> <p>【研修内容】 研修テーマ「目標に向かって力を発揮し、一人一人が輝く授業」を目指して</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業公開・授業研究の実施（各学部1回、計2回実施）</li> <li>2 職員研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の先生をお招きしての校内授業研究会の実施</li> </ul> </li> <li>3 情報に関する研修会への参加</li> </ol>	<p>て、支援の振り返りを行っている。今後は、振り返った内容を、2学期の学習内容や支援を考える際に生かしていく。</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チェックシートで振り返ったことを今後どのように生かしていくかが課題である。</li> </ul>
学校安全研修	人権研修	<p>◆3年度◆</p> <p>【研修目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権について正しく理解し、現状の把握と人権・道徳教育の推進をめざす。</li> </ul> <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権尊重の意識を高める校内研修</li> <li>・定期的な人権チェック</li> <li>・人権教育担当者研修会の伝達講習</li> </ul> <p>◆4年度◆</p> <p>【研修目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育についての知識・理解を深め、人権・道徳教育の推進を目指す。</li> </ul> <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な人権チェック</li> <li>・人権教育担当者研修会の伝達講習</li> <li>・人権教育の手引きを活用した参加型研修</li> </ul>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修や人権チェックを定期的に行うことで、職員の人権への意識を高めたり、維持したりすることができた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>今後も人権チェックを継続して行い、学校全体で児童生徒の人権を大切にしてい</p> <p>く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の現状を把握するために、学園との連携を深めていく必要がある。</li> </ul> <p>&lt;進捗&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権チェックを定期的に行うことで、児童生徒への言葉遣いや態度など、関わる上で配慮することを意識するきっかけになっている。</li> </ul>



研修名	研修内容	成果及び課題
防災研修	<p>◆3年度◆  <b>【研修目的】</b>            ・全職員が危機管理マニュアルを周知し、災害時に安全かつ迅速に避難誘導ができる。  <b>【研修内容】</b>            ・防災出前講座の実施（地域の土砂災害危険地域について）            ・定期的な避難訓練の実施、反省と有効な避難誘導の検討。</p> <p>◆4年度◆  <b>【研修目的】</b>            ・全職員が危機管理マニュアルを周知し、いかなる状況下でも安全かつ迅速に避難誘導ができる。  <b>【研修内容】</b>            ・消防による煙体験（煙→起震車→消火の順に3年サイクルで行う。）            ・定期的な避難訓練の実施、反省と有効な避難誘導の検討。</p>	<p>&lt;成果&gt;            ・様々な状況下で行う防災訓練を行った。本校は職員数が少なく、出張や所要等で教師が手薄になってしまう場面が幾度かある。そのような状況下でも安全かつ迅速に避難誘導できるよう、学部をまたいでの連携や個々の役割の確認などより災害をリアルに捉え行うことができた。その結果、いかなる場合でもできる心構えをもつことができた。</p> <p>&lt;進捗&gt;            ・「この場面ではこうする。」や「小学部が手薄なので、緊急時にはすぐヘルプに入る。」など教頭・学年主任を中心に連携を取る体制が強化できている。また、本年度は併設施設との合同防災で「炊き出し訓練（非常食体験）」を行い、道が寸断され孤立してしまったことなど視野に入れながら、いかなる場合でも冷静に対処できるようにしていく。</p> <p>&lt;課題&gt;            ・併設施設との密な連携。            ・通学生の登下校時における災害への対応。</p>
救命救急法 伝達講習	<p>◆3・4年度◆  <b>【研修目的】</b>            ・児童生徒の命を守るために、教職員が救急救命法を体得する。  <b>【研修内容】</b>            ・心肺蘇生法 ・AED の使用方法</p>	<p>&lt;成果&gt;            ・心肺蘇生法、AED の使い方、プールで生徒が溺れた場合を想定しての救出訓練を行うことで、マニュアルに沿った行動を確認できた。            ・マニュアルの確認に合わせ、非常の場合に特に重要視すべき行動についての確認ができた。</p>
情報研修	<p>◆3・4年度◆  <b>【研修目的】</b>            ・情報の適切な管理・活用の仕方を学び、情報漏洩や情報紛失を防ぐ。  <b>【研修内容】</b>            ・情報機器の扱い方            ・情報資産の取り扱い</p>	<p>&lt;成果&gt;            ・4月の全員で情報機器の使い方や情報モラルについて研修を行ったことで、約束や注意事項を確認できた。情報漏洩や個人情報の紛失については、一人一人が心掛けている。</p> <p>&lt;課題&gt;            ・扱いに困った場合、機器の不具合などで一部の教員に頼る必要があり、業務に偏りが生じている。            ・機器の置き場の確保が難しい。</p>

研修名		研修内容	成果及び課題
専門性向上研修	児童生徒理解研修	<p>◆3・4年度◆</p> <p>【研修目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の障害についての理解を深め、支援方法を探る。</li> </ul> <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「愛着障害について」(3年度)</li> <li>講義「学園の子ども達への理解と支援」(4年度)</li> <li>・講義「自立活動チェック表の活用方法と個別の指導計画作成・活用」</li> </ul>	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複雑な環境で育ち、施設に入所している児童生徒が多いことから、児童生徒個々の実態把握や支援方法について共通理解し、支援を行っている。</li> </ul> <p>&lt;進捗&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学園園長を講師とした学習会を実施し、生徒理解や心の通じた接し方、生活支援方法などについて理解を深めた。</li> </ul>

## 6 防災対策について

### 【本校】

学校経営の重点課題の一つとして、防災対策委員会を組織し、防災教育課を核として、安全・授業・連携の各課と連携して防災対策に取り組んでいる。危機管理マニュアルについては更新される関係諸機関の情報を反映させて、本校の洪水想定変更や教職員の参集基準の変更に伴うマニュアル改定を随時行った。防災訓練については、感染症対策を講じ、内容によっては図上訓練に変更して実施している。特に、医療的ケア児童生徒の発災時手順、避難方法についても保護者と連携して訓練を行った。また減災対策・備蓄について、各教室の飛散防止・棚等の固定を計画的に進めている。

- (1) 非常用食料の入れ替え、常備薬の保管、防災備品の整備、教室の飛散防止対策を行う。
- (2) 防災研修・・・防災マニュアルの説明、確認、模擬訓練
- (3) 吉田町及び片岡自治区との連携・・・防災教育推進連絡会議（年間3回）  
今年度は、片岡東地区との合同防災訓練の計画、話し合い⇒実施
- (4) 様々な想定を図上訓練や避難訓練を通して、児童生徒及び教員の危機対応力を高める。
- (5) 地域の防災訓練への児童生徒の参加を促す。

### <地震・防災訓練実施状況>

年度	月 日	内 容	備 考
3	4月15日	第1回職員避難訓練【地震】	上階避難を実施。
	7月5日	登校時S B避難訓練（図上）	スクールバス介助員と担当教員でDIGを実施。
	7月8日	登校時避難訓練（図上）	学年会にて各学級学年の登校時発災についてDIGを実施。
	7月16日	高等部防災学習1	自主通学者対象；シェイクアウト訓練 地震発生時の危険回避と安全行動 通学途中に発災した場合の対応について確認
	7月30日	夏季教職員防災研修	参集先・参集基準・本部要員の動き確認。 災害班ごと発災時役割の確認。
	7月30日	引渡し模擬訓練	教員の役割、動きの確認

年度	月 日	内 容	備 考
	8月29日	大規模災害防災の日	発災・留め置き・避難所設営支援等災害時の一連の動きを確認。片岡東地区との合同防災訓練を実施。
	8月29日	引き渡し訓練	発災時を想定した保護者への引渡し実施
	9月1日	高等部防災学習2	携帯電話所持者対象；発災時の連絡手段と方法について確認。171利用訓練。
	9月22日	第2回避難訓練【火災】	初期消火訓練、避難経路の確認、消防署との連携（通報訓練）。消火器訓練。
	10月	シェイクアウト訓練	その場に応じた身の守り方
	11月下旬	地域の防災訓練（呼びかけ）	防災教育課からプリント配布
	12月1日	防災学習の日（第4回避難訓練訓練）	避難所生活体験（寝袋体験、非常食体験等）、防災講話
	1月15日～21日	災害用伝言ダイヤル利用訓練（保護者・高等部・放デイ）	171災害用伝言ダイヤルの再生手順確認
	1月12日～2月2日	第5回避難訓練（予告なし）	地震時の避難場所、避難経路の確認
	3月初旬	津波防災訓練（参加呼びかけ）	防災教育課からプリント配布
4	4月15日	地震津波①COC00テスト配信	保護者や教員に発災時の連絡手段の一つとして、COC00によるテスト配信を行う（今年度からの使用となる為）
	4月20日	第1回避難訓練【地震】	上階避難を実施。
	4月22日	地震津波②COC00テスト配信	保護者や教員に発災時の連絡手段の一つとして、COC00によるテスト配信を行う。
	5月15日	171災害用伝言ダイヤルの再生手順確認	災害用伝言ダイヤル利用訓練（教職員）
	6月29日	第2回避難訓練【風水害】	避難経路の確認。上階避難を実施。
	7月5日	登校時S B避難訓練（図上）	スクールバス介助員と担当教員でDIGを実施。
	7月7日	登校時避難訓練（図上）	学年会にて各学級学年の登校時発災についてDIGを実施。
	7月15日	高等部防災学習1	自主通学者対象；シェイクアウト訓練 地震発生時の危険回避と安全行動 通学途中に発災した場合の対応について確認

年度	月 日	内 容	備 考
	7月29日	夏季教職員防災研修	参集先・参集基準・本部要員の動き確認。災害班ごと発災時役割の確認。 8月31日引き渡し訓練の準備（車両誘導班の役割を確認）
	8月31日	引渡し訓練	発災時を想定した保護者への引渡し実施
	9月1日	高等部防災学習2	携帯電話所持者対象；発災時の連絡手段と方法について確認。171利用訓練。
	9月4日	地域防災訓練（呼びかけ）	防災教育課からCOCOO配信を行い、参加を呼び掛ける。参加状況をアンケートで確認。
	9月22日	第3回避難訓練【火災】	初期消火訓練、避難経路の確認、消防署との連携（通報訓練）。消火器訓練。
	10月	シェイクアウト訓練	その場に応じた身の守り方
	10月27日	下校時スクールバス避難訓練	児童生徒、教職員、介助員、運転手、保護者が情報を共有して避難訓練を行う。
	11月下旬	地域防災訓練（呼びかけ）	防災教育課からCOCOO配信を行い、参加を呼び掛ける。参加状況をアンケートで確認。
	12月1日	第4回避難訓練（防災学習の日）	避難所生活体験（寝袋体験、非常食体験等）、防災講話
	1月15日 ～21日	災害用伝言ダイヤル利用訓練（保護者・高等部・放デイ）	171災害用伝言ダイヤルの再生手順確認
	1月下旬 ～2月上旬	第5回避難訓練（予告なし）	地震時の避難場所、避難経路の確認。
	3月12日	津波防災訓練（参加呼びかけ）	防災教育課からCOCOO配信を行い、参加を呼び掛ける。

【駿遠分教室】

児童生徒の生命を守ることを第一とし、人的・物的被害を最小限に止めるため、併設施設との協力・連携を図る。令和4年度は、『危機管理マニュアル・防災計画』をもとに、職員全員、また併設施設との合同で、実際の訓練や図上訓練を行う。想定を少しずつ変化させるなどで、臨機応変に判断し行動できる姿勢を培い、緊急事に対応できる危機管理体制の整備を行う。

- (1) 環境整備…通路の整備、非常食料・防災備品の確認と保管場所の見直し、点検。
- (2) 防災訓練…併設施設と連携し、互いに連絡の取り方や避難経路について、児童生徒の安全を守る連携体制などを確認をしてから訓練を実施する。8月には合同防災訓練（引渡し訓練）を行う。
- (3) 防災研修…防災計画（マニュアル）の説明・共通理解、職員防災研修の実施
- (4) 地域連携…北五和地区の自主防災組織と防災会議を実施し、発災時の対応について確認

<地震・防災訓練実施状況>

年度	月日	内容	備考
令和3年度	6月15日	第1回防災訓練【火災】	発災時の約束、避難経路/場所の確認
	7月13日	第2回防災訓練【地震】	発災時の約束、避難経路/場所の確認
	8月30日	第3回防災訓練 (併設施設と合同)	南海トラフ地震臨時情報（警戒）発令を想定。 併設施設との本部協議と備蓄等の確認、児童生徒と防災食の試食や引渡し訓練
	11月15日～19日	第4回防災訓練【火災】	予告なし

7 学校開放について

地域に開かれた学校を目指し学校施設開放委員会を設置し、社会教育活動、文化活動、スポーツ活動の生涯学習活動振興のため施設等を開放している。

【本校】

(令和3年度)

施設名	利用日数 (延べ日数)	利用人数 (延べ人数)	利用目的	利用者負担金
運動場	103日	4,588人	サッカー、陸上	52,138円
体育館	121日	2,603人	バドミントン、バスケットボール、体操他	47,642円

(令和4年度)

(令和4年8月31日現在)

施設名	利用日数 (延べ日数)	利用人数 (延べ人数)	利用目的	利用者負担金
運動場	41日	1,908人	サッカー、陸上	34,955円
体育館	85日	1,695人	バスケットボール、バドミントン、体操他	21,128円

【駿遠分教室】

開放なし。

### 事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
<p>1 学校教育に関する こと</p>	<p>教育基本法（第1条、第2条）                      学校教育法（第1条、第2条、第3条、第72条、第73条、第74条、                      第75条、第76条、第77条、第82条）                      学校教育法施行規則                      学校保健安全法（第5条、第6条、第13条、第14条）                      学校給食法（第5条）                      特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律（第3条）                      静岡県立学校設置条例                      静岡県立特別支援学校分教室設置要綱                      静岡県立特別支援学校学則                      静岡県就学支援委員会規則</p> <p>特別支援学校小学部・中学部学習指導要領                      特別支援学校高等部学習指導要領</p>
<p>2 学校の管理・運営に 関すること</p>	<p>学校教育法（第137条）                      地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条）                      教育公務員特例法（第21条、第22条）                      学校保健安全法（第6条、第7条、第15条、第27条）                      学校図書館法（第3条、第4条）                      静岡県立学校管理規則                      静岡県教育委員会処務規程                      静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱                      静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程</p> <p>特別支援学校への就学奨励に関する法律（第2条、第3条）                      特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令                      特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則</p> <p>特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費補助金交付要綱                      要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱</p> <p>県立学校行事キャンセル料支援事業費補助金交付要綱</p>

□□□□□□□

## 学 校 施 設 の 概 要

### 1 面積及び所有区分

#### (1) 本校

(令和4年8月31日現在)

区 分	面 積 m <sup>2</sup>	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m <sup>2</sup>	国 有 m <sup>2</sup>	市町村有 m <sup>2</sup>	後援会有 m <sup>2</sup>	民 有 m <sup>2</sup>	
学 校 敷 地	31,274.44	18,499.00		12,775.44			吉田町
内 訳	校 舎 敷 地	10,239.00	10,239.00				
	運 動 場 敷 地	21,035.44	8,260.00	12,775.44			
	その他の敷地						
校 舎	建 1,995.22	1,995.22					
	延 7,692.40						
体 育 館	建 1,312.45	1,312.45					
	延 2,493.60						
その他の建物	建 997.05	997.05					
	延 1,700.59						
プ ー ル	280.00	280.00					大プール 9.2×25m 4コース 小プール 5×10m

#### (2) 駿遠分教室

(令和4年8月31日現在)

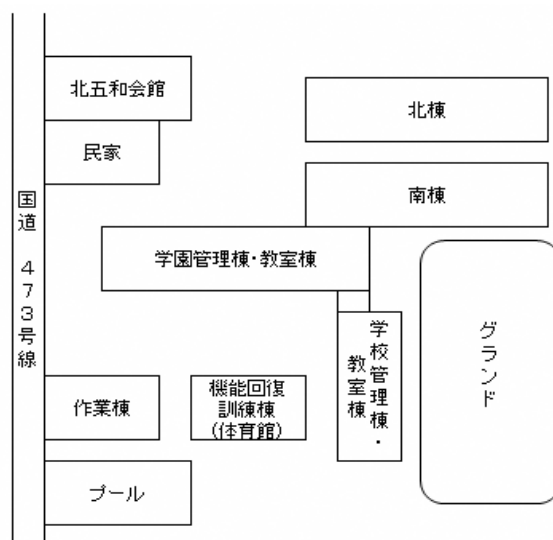
区 分	面 積 m <sup>2</sup>	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m <sup>2</sup>	国 有 m <sup>2</sup>	市町村有 m <sup>2</sup>	後援会有 m <sup>2</sup>	民 有 m <sup>2</sup>	
学 校 敷 地	114.16			114.16			駿遠学園管理組合
内 訳	校 舎 敷 地	114.16		114.16			
校 舎	建 355.54	112.00		243.54			
	延 467.54						
体 育 館	建 454.95			454.95			
	延 480.14						
その他の建物	建 2.2738			2.2738			光ケーブル敷 設のため
	延 2.2738						

2 配置・規模等  
校舎の配置図

(1) 本校



(2) 駿遠分教室



(2) 学校施設の規模等(法面・演習林等を除く)

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
本 校	31,274.44 m <sup>2</sup>	7,692.40 m <sup>2</sup>	21,035.44 m <sup>2</sup>
駿遠分教室	(114.16) m <sup>2</sup>	(467.54) m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
県 平 均	18,817.67 m <sup>2</sup>	6,361.36 m <sup>2</sup>	5,247.28 m <sup>2</sup>



在籍生徒調

(令和4年8月31日現在)

学年	学部 区分	小学部									中学部								
		小本			校訪問教育分			教室			中本			校訪問教育分			教室		
		男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
1年	入学者	5	2	7	0	0	0	0	0	0	9	3	12	0	0	0	4	0	4
	増加																		
	減少																		
	現在	5	2	7	0	0	0	0	0	9	3	12	0	0	0	4	0	4	
2年	入学者	6	1	7	1	0	1	1	0	1	9	3	12	0	0	0	0	2	2
	増加	1		1			0			0		0			0	1		1	
	減少				1		1			0		0			0			0	
	2年時当初	7	1	8	0	0	0	1	0	1	9	3	12	0	0	0	1	2	3
	増加						0			0					0				0
減少						0			0					0				0	
	現在	7	1	8	0	0	0	1	0	1	9	3	12	0	0	0	1	2	3
3年	入学者	7	6	13	0	0	0	1	1	2	10	8	18	0	0	0	2	0	2
	増加	1		1			0			0		0			0			0	
	減少						0			0		0			0			0	
	2年時当初	8	6	14	0	0	0	1	1	2	10	8	18	0	0	0	2	0	2
	増加						0			0					0				0
	減少						0			0					0				0
	3年時当初	8	6	14	0	0	0	1	1	2	10	8	18	0	0	0	2	0	2
増加						0			0					0				0	
減少						0			0					0				0	
	現在	8	6	14	0	0	0	1	1	2	10	8	18	0	0	0	2	0	2
4年	入学者	9	2	11	1	0	1	0	0	0									
	増加	1		1			0		1										
	減少						0		0										
	2年時当初	10	2	12	1	0	1	1	0	1									
	増加						0			0									
	減少						0			0									
	3年時当初	10	2	12	1	0	1	1	0	1									
増加						0			0										
減少		1	1			0			0										
4年時当初	10	3	13	1	0	1	1	0	1										
増加						0			0										
減少						0			0										
	現在	10	3	13	1	0	1	1	0	1									
5年	入学者	10	3	13	1	0	1	0	0	0									
	増加	2		2			0			0									
	減少				1		1			0									
	2年時当初	12	3	15	0	0	0	0	0	0									
	増加						0			1									1
	減少						0			0									0
	3年時当初	12	3	15	0	0	0	1	0	1									
増加						0			0									0	
減少		1	1			0			0									0	
4年時当初	12	2	14	0	0	0	1	0	1										
増加						0			0									0	
減少		1	1			0			1									1	
5年時当初	12	3	15	0	0	0	0	0	0										
増加						0			0									0	
減少						0			0									0	
	現在	12	3	15	0	0	0	0	0	0									
6年	入学者	5	1	6	0	0	0	1	0	1									
	増加						0			0									
	減少						0			0									
	2年時当初	5	1	6	0	0	0	1	0	1									
	増加						0			0									
	減少						0			0									
	3年時当初	5	1	6	0	0	0	1	0	1									
	増加						0			0									
	減少						0			0									
4年時当初	5	1	6	0	0	0	1	0	1										
増加						0			0										
減少						0			0										
5年時当初	5	1	6	0	0	0	1	0	1										
増加						0			0										
減少						0			0										
6年時当初	5	1	6	0	0	0	1	0	1										
増加						0			0										
減少						0			0										
	現在	5	1	6	0	0	0	1	0	1									
	合計	47	16	63	1	0	1	4	1	5	28	14	42	0	0	0	7	2	9

□□□□□□□□

在 籍 生 徒 調

学年	学部 区分	高 等 部							
		本 校				訪 問 教 育			
		定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
1年	入学者	33	17	8	25	3	0	2	2
	増 加				0				0
	減 少				0				0
	現 在		17	8	25		0	2	2
2年	入学者	33	17	6	23	3	0	2	2
	増 加				0				0
	減 少				0				0
	2年時当初		17	6	23		0	2	2
	増 加				0				0
	減 少				0				0
現 在		17	6	23		0	2	2	
3年	入学者	24	15	3	18		0		0
	増 加				0				0
	減 少				0				0
	2年時当初		15	3	18		0	0	0
	増 加				0				0
	減 少				0				0
	3年時当初		15	3	18		0	0	0
	増 加				0				0
減 少				0				0	
現 在		15	3	18		0	0	0	
合 計		90	49	17	66	6	0	4	4

□□□□□□□

## 入学志願者及び入学者数調

区分		30 年 度	31 年 度	2 年 度	3 年 度	4 年 度
学部別		高 等 部	高 等 部	高 等 部	高 等 部	高 等 部
生徒定員 (A)		24	36	24	36	36
募集者数 (B)		24	36	24	36	36
志願者数	男	11	22	15	17	17
	女	8	7	3	8	10
	計 (C)	19	29	18	25	27
受検者数	男	11	22	15	17	17
	女	8	7	3	8	10
	計 (D)	19	29	18	25	27
合格者数	男	11	22	15	17	17
	女	8	7	3	8	10
	計 (E)	19	29	18	25	27
志願倍率 (C)／(B)		0.79	0.81	0.75	0.69	0.75
受検倍率 (D)／(B)		0.79	0.81	0.75	0.69	0.75
入学者数	男	11	22	15	17	17
	女	8	7	3	8	10
	計 (F)	19	29	18	25	27
充足率 (F)／(A)		0.79	0.81	0.75	0.69	0.75

□□□□□□□□□□

## 卒業生の動向調

区 分		中学部		高等部	合 計
		本校	分教室		
高等学校 (本科)	全日制			/	
	定時制			/	
	通信制			/	
特別支援学校高等部		15	2	/	17
その他高等学校等				/	
大学等	大学(学部)			/	
	短期大学(本科)			/	
	大学・短大の 通信教育学部等			/	
	その他大学等			/	
特別支援学校高等部専攻科				/	
専修学校(専門課程)					
専修学校(一般課程)・各種学校					
公共職業能力開発施設等				1	1
就 職				5	5
上記以外※				23	23
不詳・死亡				1	1
計(卒業生総数)		15	2	30	47

(再掲) 「上記以外※」のうち、社会福祉施設等入所、通所者

区 分		中学部		高等部	合 計
		本校	分教室		
児童福祉施設					
障害者支援施設				23	23
	(うち就労系支援事業利用者)			(17)	(17)
医療機関					
計				23	23

□□□□□□□□

## 生徒の状況

### 1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (訪問教育児童生徒を除く) (令和4年8月31日現在) (単位:人)

市 町 名		藤枝市	焼津市	島田市	牧之原市	御前崎市	吉田町	川根本町	合 計
生 徒 数	本 校	0	36	30	51	9	45	0	171
	分 教室	1	4	6	0	0	1	2	14
	合 計	1	40	36	51	9	46	2	185
構 成 比 %		0.5	21.6	19.5	27.6	4.9	24.9	1.1	100%

(2) 通学方法 (訪問教育児童生徒を除く) (令和4年8月31日現在) (単位:人)

区 分		スクールバス	公共交通機関	自家用車送迎	徒歩・自転車	な し	合 計
生 徒 数	本 校	89	19	40	23	0	171
	分 教室	0	0	2	0	12	14
	合 計	89	19	42	23	12	185
構 成 比 %		48.1	10.3	22.7	12.4	6.5	100%

(3) 訪問教育の状況 (令和4年8月31日現在) (単位:人)

訪問教員等		市町	島田市	牧之原市	御前崎市	吉田町	計	
小・中 学部	教諭	1	小学部	0	1	0	0	1
			中学部	0	0	0	0	0
高等部	教諭	2	高等部	0	1	0	3	4
計		3	計	0	2	0	3	5

### 2 部(クラブ)の加入状況

(令和4年8月31日現在) (単位:人)

区 分		高等部			
		本校			計
		運動部	文化部	未加入者	
部(クラブ)数		1	2	/	3
男子	1年	4	2	11	17
	2年	5	1	11	17
	3年	3	3	9	15
	計(A)	12	6	31	49
	構成比	24.5	12.2	63.2	100
女子	1年	0	4	4	8
	2年	1	3	2	6
	3年	1	2	0	3
	計(B)	2	9	6	17
	構成比	11.8	52.9	35.3	100
合計	(A+B)	14	15	37	66
	構成比	21.2	22.7	56.0	100

3 障害別児童生徒数

(令和4年8月31日現在)

(単位：人)

区	分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	学級数	
小学部	単一障害	本校	3	2	4	5	7	2	23	6
		分教室	0	0	1	1	0	0	2	1
	重複障害	本校	4	5	7	6	6	4	32	12
		分教室	0	1	1	0	0	1	3	1
	肢体重複	本校	0	1	3	2	2	0	8	4
		訪問	0	0	0	1	0	0	1	1
部	合計	7	9	16	15	15	7	69	25	
中学部	単一障害	本校	8	7	12				27	6
		分教室	3	1	0				4	1
	重複障害	本校	4	5	4				13	5
		分教室	1	2	2				5	2
	肢体重複	本校	0	0	2				2	1
		訪問	0	0	0				0	0
部	合計	16	15	20				51	15	
高等部	単一障害	本校	22	19	14				55	8
	重複障害	本校	3	3	3				9	3
	肢体重複	本校	0	1	1				2	2
		訪問	2	2	0				4	2
部	合計	27	25	18				70	15	

4 起因疾患別児童生徒数

(令和4年8月31日現在)

(単位：人)

区	分	自閉症	ダウン症	その他の染色体異常	脳性マヒ	その他の脳原性障害	脳炎等後遺症	水頭症	その他	計
小学部	本校	31	9	2	2	0	1	1	17	63
	分教室	3	0	0	0	0	0	0	2	5
中学部	本校	21	2	1	1	1	0	0	16	42
	分教室	1	1	2	0	0	0	0	5	9
高等部	本校	27	7	1	1	0	0	0	30	66
訪問		0	0	0	3	1	0	0	1	5
計		83	19	6	7	2	1	1	71	190

その他の染色体異常には、プラダウィリー症候群、ソトス症候群、コルネリア・デ・ラング症候群、アンジェルアン症候群などを含む。

てんかんは併発する症状として疾患に含めない。

その他には、診断のないもの、難治性てんかん、発達障害や代謝異常を含む。

□□□□□□□

## 預 金 調

(令和4年8月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高円	摘要
島田掛川信用金庫吉田支店	決済用 普通預金	0457753	静岡県立吉田特別支援学校 資金前渡者 稲葉 敏光	0	職員給与等用
島田掛川信用金庫吉田支店	決済用 普通預金	0461019	自振口静岡県立吉田特別支援学校 資金前渡者 稲葉 敏光	0	電気料等 口座振替用
静岡銀行吉田支店	無利息型 普通預金	0571336	静岡県立吉田特別支援学校奨励費 代理受領者 稲葉 敏光	0	就学奨励費用
残 高 合 計				0	

□□□□□□□

## 郵 券 等 受 払 調

(令和4年8月31日現在)

(単位:枚、円)

区分	種 類	3 年 度						4 年 度						摘 要		
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵券	84円券	72	6,048		0	22	1,848	50	4,200	150	12,600	51	4,284	149	12,516	書類等 発送用
	120円券	9	1,080		0	1	120	8	960		0	2	240	6	720	
	140円券	10	1,400		0	4	560	6	840		0	2	280	4	560	
	計	/	8,528	/	0	/	2,528	/	6,000	/	12,600	/	4,804	/	13,796	
iTunes card	1,500円券			132	198,000		39,180	132	158,820			35	61,210	97	97,610	アプリ 購入
	3,000円券	12	1,540			10	1,300	2	240					2	240	
	計	/	1,540	/	198,000	/	40,480	/	159,060	/	0	/	61,210	/	97,850	



□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					2年度	3年度	左のうち、 元年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	243,980	/
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		44,965,744	
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費		15,511,732	
計					67,177,544	60,721,456	0
(14) 工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	0	/
計					935,000	0	0
(16) 公有財産購入費					/	0	/
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	991,760	/
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		1,213,355	
計					4,858,450	2,205,115	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	18,150	/
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		633,461	
計					703,006	651,611	0
(21) 補償・補填及び賠償金					/	0	/
計					0	0	0

□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和4年8月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、3年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	16,131,436	0
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費	5,184,657	0
計					21,316,093	0
(14) 工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	0
計					0	0
(16) 公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	192,830	0
計					192,830	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	59,200	0
計					59,200	0
(21) 補償・補填及び賠償金					0	0
計					0	0

## 委託料に関する調

(令和3年度)

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務の 内 容	摘 要
				当初額	変 更 増減額	計						
1	スクールバス 運行管理業 務	大新東(株) 静岡営業 所	16,142,182	13,780,800		13,780,800	一般	3.4.1 )	3.5.31	382,800	スクールバスの 運行管理業務 1台(毎日)	3長期
									3.6.30	382,800		
									3.7.30	382,800		
									3.8.31	382,800		
									3.9.30	382,800		
									3.10.29	382,800		
									3.11.30	382,800		
									3.12.27	382,800		
									4.1.31	382,800		
									4.2.28	382,800		
									4.3.31	382,800		
									(小計4,593,600)			
2	通学バス輸送 業務	吉田観光 (株)	80,746,028	58,732,300		58,732,300	一般	3.4.1 )	3.5.31	1,436,445	吉田特別支援 学校に通学する 児童・生徒の送 迎等 2台(毎 日) (新型コロナウイ ルス感染症対 策に伴う増便3 台(4~7月)(毎 日)	3長期
									3.6.30	1,436,419		
									3.7.30	1,436,419		
									3.8.31	1,436,419		
									3.5.31	1,755,299		
									3.6.30	1,755,297		
									3.7.30	1,755,297		
									3.8.31	1,755,297		
									3.9.30	1,436,419		
									3.10.29	1,436,419		
									3.11.30	1,436,419		
									(小計24,258,244)			
3	新型コロナ ウイルス感染 症対策に伴う 通学バス輸送 業務	吉田観光 (株)	9,711,900	9,711,900	△ 239,800	9,472,100	随契	3.9.1 )	3.10.29	2,398,000	吉田特別支援 学校に通学する 児童・生徒の送 迎等3台(毎日) (新型コロナウイ ルス感染症対 策に伴う増便)	随契2号 (不適)
									3.11.30	2,517,900		
									3.12.27	2,398,000		
									4.1.31	2,158,200		
									(小計9,472,100)			
4	新型コロナ ウイルス感染 症対策に伴う 通学バス輸送 業務	吉田観光 (株)	5,995,000	5,995,000		5,995,000	随契	4.1.6 )	4.2.28	2,038,300	吉田特別支援 学校に通学する 児童・生徒の送 迎等3台(毎日) (新型コロナウイ ルス感染症対 策に伴う増便)	随契2号 (不適)
									4.3.31	2,158,200		
									4.3.28	1,798,500		
5	エレベータ保 守点検業務	三菱電機 ビルテクノ サービス(株) 中部支社 静岡支店	669,240	580,800		580,800	随契	3.4.1 )	3.5.31	81,180	エレベータ の保守点検 (1台)	随契2号 (不適)
									3.6.30	29,700		
									3.7.30	29,700		
									3.8.31	81,180		
									3.9.30	29,700		
									3.10.29	29,700		
									3.11.30	81,180		
									3.12.27	29,700		
									4.1.31	29,700		
									4.2.28	99,660		
									4.3.31	29,700		
									(小計580,800)			

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務の 内 容	摘 要
				当初額	変 更 増減額	計						
6	給食調理業務	(株)ユアーズ静岡	44,759,409	44,748,000		44,748,000	一般	2.8.1 5.7.31	3.5.31 3.6.30 3.7.30 3.8.31 3.9.30 3.10.29 3.11.30 3.12.27 4.1.31 4.2.28 4.3.31 4.4.28	(累計14,916,000円) 1,243,000 1,243,000 1,243,000 1,243,000 1,243,000 1,243,000 1,243,000 1,243,000 1,243,000 1,243,000 1,243,000 1,243,000 (小計14,916,000)	主食・副食の調理、食器等の洗浄・保管及びこれらに付随する業務(毎日)	2長期
7	一般廃棄物収集運搬業務	(有)榛原クリーンサービス	◎可燃物 運搬料 1,980円/回 処分料 16.5円/kg ◎不燃物 運搬料 1,980円/回 処分料 16.5円/kg	◎可燃物 運搬料 1,980円/回 処分料 16.5円/kg ◎不燃物 運搬料 1,980円/回 処分料 16.5円/kg		◎可燃物 運搬料 1,980円/回 処分料 16.5円/kg ◎不燃物 運搬料 1,980円/回 処分料 16.5円/kg		3.4.12 4.3.31	3.5.31 3.6.30 3.7.30 3.8.31 3.10.29 3.11.30 3.12.27 4.1.31 4.2.28 4.3.31 4.4.28	33,891 40,754 50,572 29,881 43,461 46,282 44,005 36,745 34,352 41,909 29,716 (小計431,568)	一般廃棄物の収集運搬処分業務	随契1号 (少額) 単価契約
8	不燃物収集運搬業務	(株)アドバンス中部サービス	運搬料 2,420円/回 処分料 88円/kg	運搬料 2,420円/回 処分料 88円/kg		運搬料 2,420円/回 処分料 88円/kg		3.4.16 4.3.31	3.5.21 3.6.18 3.7.19 3.8.18 3.9.17 3.10.19 3.11.18 3.12.17 4.1.20 4.2.18 4.3.18 4.4.18	5,676 3,740 4,180 3,124 5,324 3,564 3,740 4,180 3,652 3,740 4,356 3,388 (小計48,664)	不燃物の収集運搬処分業務	随契1号 (少額) 単価契約
9	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	(株)アドバンス中部サービス	66,000	66,000		66,000	随契	3.4.12 4.3.31	3.8.18 4.2.18 4.4.7	22,000 22,000 22,000 (小計66,000)	産業廃棄物収集運搬処分	随契1号 (少額)
10	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	静和エンパイロメント(株)	33,000	33,000		33,000	随契	3.8.5 3.9.30	3.9.2	33,000	グリストラップ汚泥・廃油収集運搬及び処分	随契1号 (少額)
11	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	静和エンパイロメント(株)	49,500	49,500		49,500	随契	3.12.2 4.1.31	3.12.23	49,500	グリストラップ汚泥・廃油収集運搬及び処分	随契1号 (少額)
12	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	静和エンパイロメント(株)	33,000	33,000		33,000	随契	4.3.18 4.3.31	4.4.14	33,000	グリストラップ汚泥・廃油収集運搬及び処分	随契1号 (少額)
13	アスベスト及びPCB・鉛他含有調査業務	(株)静環検査センター	273,900	273,900	△ 7,920 △ 22,000	243,980	随契	3.6.22 3.8.10	3.9.22	243,980	アスベスト及びPCB・鉛他含有調査	随契1号 (少額)
	事務関係 計	13 件	—	—						60,721,456		
	合 計	13 件	—	—						60,721,456		

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務の 内 容	摘 要
				当初額	変 更 増減額	計						
参考 1	警備業務	総合警備 保障㈱静岡 支社		7,691,640		7,691,640		元.10.1 ～ 6.9.30			警報機器により 伝達される異常 の有無の監視 及び異常に対 する処置	榛原高等 学校
参考 2	消防設備等 保守点検業務	静岡県消 防設備点 検業協同 組合		3,630,000		3,630,000		3.4.1 ～ 4.3.31			自動火災報知 器、非常放送設 備、避難器具 等の保守点検 年2回	榛原高等 学校
参考 3	自家用電気工 作物保安管理 業務	森下電気 保安管理 事務所 森下健秀		876,216		876,216		3.4.1 ～ 4.3.31			自家用電気工 作物保守点検  定期点検A 隔月1回 定期点検B 年1回	相良高等 学校
参考 4	可燃物収集 運搬処分業務	(有)榛原ク リーンサー ビス		運搬料 1,320円/回 処分料 16.5円/kg		運搬料 1,320円/回 処分料 16.5円/kg		3.4.6 ～ 4.3.30			可燃物の収集・ 運搬・処分	榛原高等 学校
参考 5	GHPエアコン 点検業務委託	㈱エクノス ワタナベ		998,800		998,800		3.6.1 ～ 4.3.1			GHPエアコン 点検業務	榛原高等 学校
参考 6	水泳プール浄 化装置保守点 検業務委託	清化工業 ㈱		334,400		334,400		3.4.30 ～ 3.11.30			水泳プール浄 化装置の点検 調整及び機能 保全	金谷高等 学校
参考 7	建築基準法第 12条に基づく定 期点検業務委託	エイエイチ 設計 増田剛久		1,265,000		1,265,000		3.9.7 ～ 3.11.30			建築基準法第1 2条に基づく定 期点検業務並 びにその点検 結果資料等の 作成	相良高等 学校

## 委託料に関する調

(令和4年度)  
(令和4年8月31日現在)

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務の 内 容	摘 要
				当初額	変 更 増減額	計						
1	(事務関係) スクールバス 運行管理業 務	大新東(株) 静岡営業 所	16,142,182	13,780,800		13,780,800	一般	3.4.1 4.6.30 4.7.29 6.3.31	4.5.31 4.6.30 4.7.29 4.8.31	382,800 382,800 382,800 382,800 (小計1,531,200)	スクールバスの 運行管理業務 1台(毎日)	3長期
2	通学バス輸送 業務	吉田観光 (株)	80,746,028	58,732,300		58,732,300	一般	3.4.1 4.7.29 6.3.31	4.5.31 4.6.30 4.7.29 4.8.30	1,436,419 1,436,419 1,436,419 1,436,419 (小計5,745,676)	吉田特別支援 学校に通学する 児童・生徒の送 迎等 2台(毎 日)	3長期
3	新型コロナ ウイルス感染 症対策に伴う 通学バス輸送 業務	吉田観光 (株)	8,632,800	8,632,800		8,632,800	随契	4.4.7 4.7.22	4.5.31 4.6.30 4.7.29 4.8.30	1,918,400 2,278,100 2,637,800 1,798,500 (小計8,632,800)	吉田特別支援 学校に通学する 児童・生徒の送 迎等3台(毎日) (新型コロナウイ ルス感染症対策 に伴う増便 4 ~7月)	随契2号 (不適)
4	新型コロナ ウイルス感染 症対策に伴う 通学バス輸送 業務	吉田観光 (株)	9,732,800	9,732,800		9,732,800	随契	4.8.30 4.12.23			吉田特別支援 学校に通学する 児童・生徒の送 迎等3台(毎日) (新型コロナウイ ルス感染症対策 に伴う増便 8 ~12月)	随契2号 (不適)
5	エレベータ保 守点検業務	三菱電機 ビルソ リューションズ(株) 中部支社 静岡支店	580,800	580,800		580,800	随契	4.4.1 5.3.31	4.5.31 4.6.30 4.7.29 4.8.31	81,180 29,700 29,700 81,180 (小計221,760)	エレベータ の保守点検 (1台)	随契2号 (不適)
6	給食調理業務	(株)ユア ーズ静岡	44,759,409	44,748,000		44,748,000	一般	2.8.1 5.7.31	4.5.31 4.6.30 4.7.29 4.8.31	(累計 9,944,000円) 1,243,000 1,243,000 1,243,000 1,243,000 (小計4,972,000)	主食・副食の調 理、食器等の洗 浄・保管及びこ れらに付随する 業務(毎日)	2長期
7	一般廃棄物 収集運搬業 務	(有)榛原ク リーン サービス	◎可燃物 運搬料 3,300円/回 処分料 16.94円/kg ◎不燃物 運搬料 3,300円/回 処分料 16.94円/kg	◎可燃物 運搬料 1,980円/回 処分料 16.5円/kg ◎不燃物 運搬料 1,980円/回 処分料 16.5円/kg		◎可燃物 運搬料 1,980円/回 処分料 16.5円/kg ◎不燃物 運搬料 1,980円/回 処分料 16.5円/kg		4.5.31 4.4.13 5.3.31	4.5.31 4.6.30 4.7.29 3.8.31	27,588 42,075 51,084 32,950 (小計153,697)	一般廃棄物の 収集運搬処分 業務	随契1号 (少額) 単価契約
8	不燃物収集 運搬業務	(株)アドバ ンス中部 サービス	運搬料 2,860円/回 処分料 110円/kg	運搬料 2,860円/回 処分料 110円/kg		運搬料 2,860円/回 処分料 110円/kg		4.4.15 5.3.31	4.5.16 4.6.16 4.7.15 4.8.15	6,380 4,510 4,840 4,730 (小計20,460)	不燃物の収集 運搬処分業務	随契1号 (少額) 単価契約

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務の 内 容	摘 要
				当初額	変 更 増減額	計						
9	産業廃棄物 収集・運搬及 び処分業務	(株)アドバ ンス中部 サービス	72,600	72,600		72,600	随契	4.4.12 } 5.3.31			産業廃棄物収 集運搬処分	随契1号 (少額)
10	産業廃棄物 収集・運搬及 び処分業務	静和エン パイロメント (株)	38,500	38,500		38,500	随契	4.7.25 } 4.9.30	4.8.31	38,500	グリストラップ汚 泥・廃油収集運 搬及び処分	随契1号 (少額)
	事務関係 計	10 件	—	—						21,316,093		
	合 計	10 件	—	—						21,316,093		

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務の 内 容	摘 要
				当初額	変 更 増減額	計						
参考 1	警備業務	総合警備 保障(株)静 岡支社	/	7,691,640		7,691,640	/	元.10.1 } 6.9.30	/	/	警報機器により 伝達される異常 の有無の監視 及び異常に対 する処置	榛原高等 学校
参考 2	消防設備等 保守点検業務	静岡県消 防設備点 検業協同 組合	/	3,190,000		3,190,000	/	4.4.1 } 5.3.31	/	/	自動火災報知 器、非常放送設 備、避難器具 等の保守点検 年2回	榛原高等 学校
参考 3	自家用電気工 作物保安管理 業務	(一財)中 部電気保 安協会牧 之原営業 所	/	1,326,600		1,326,600	/	4.4.1 } 5.3.31	/	/	自家用電気工 作物保守点検 定期点検A 隔月1回 定期点検B 年1回	相良高等 学校
参考 4	可燃物収集 運搬処分業務	(有)榛原ク リーンサー ビス	/	運搬料 1,320円/回 処分料 16.5円/kg		運搬料 1,320円/回 処分料 16.5円/kg	/	4.4.8 } 5.3.31	/	/	可燃物の収集・ 運搬・処分	榛原高等 学校
参考 5	GHPエアコン 点検業務委託	(株)エクノ スワタナベ	/	1,320,000		1,320,000	/	4.6.22 } 5.3.1	/	/	GHPエアコン 点検業務	榛原高等 学校
参考 6	水泳プール浄 化装置保守点 検業務委託	清化工業 (株)	/	292,600		292,600	/	4.4.28 } 4.11.30	/	/	水泳プール浄 化装置の点検 調整及び機能 保全	金谷高等 学校

余 白

□□□□□

## 補 助 金

整理 番号	対象事業名	交付先	補助の根拠	事業の実績
1	県立学校行事キャンセル料 支援事業費補助金	児童生徒保護者 (11件)	県立学校行事キャン セル料支援事業 費補助金交付要綱	県立学校行事キャンセル料 支援事業
	計	11件		



# 支 出 調

(令和3年度)

総事業費	補助金額	補助率	交付決定		交 付		事業完了		摘要
			年月日	金額	年月日	金額	年月日	確認年月日	
円 18,150	円 18,150	定額	4.3.15	円 18,150	4. 3.31	円 18,150	4.3.8	4.3.14	
					小計	18,150			
18,150	18,150	/	/	18,150	/	18,150	/	/	/

□□□□□

## 負担金支出調

(令和3年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会受講料	公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター	廃棄物処理法施行規則	特別管理産業廃棄物に係わる管理全般にわたる業務の必要な知識及び技能修得	13,800	3.6.25
2	牧之原地区安全運転管理協会会費	牧之原地区安全運転管理協会会長	会則	交通安全の啓蒙	25,000	3.6.30
3	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会長	会則	教育の充実改善の推進、調査・研究	5,000	3.7.26
4	全国特別支援学校知的障害教育校長会会費	全国特別支援学校知的障害教育校長会会長	会則	学校の管理運営に関する調査研究	10,000	3.10.29
5	駿遠分教室管理費負担金	駿遠学園管理組合	駿遠分教室管理費負担協議書	電気・水道・浄化槽・貯水槽・消防設備負担金	565,161	3.10.29
6	安全運転管理者講習手数料	一般社団法人静岡県安全運転管理協会会長	道路交通法第74条の3第8項	道路交通法第108条の2第1項第1号に規定する安全運転管理者等講習	4,500	3.12.15
7	子どもの体験型防犯講座「あぶトレ！」負担金	県くらし・環境部 県民生活局くらし交通安全課長	体験型防犯教室「あぶトレ」実施計画	防犯講座の開催に伴う経費負担金	10,000	4.3.11
	計	7件			633,461	

□□□□□

## 負 担 金 支 出 調

(令和4年度)

(令和4年8月31日現在)

整理 番号	負 担 金 名	交 付 先	負担根拠	事 業 内 容	負担金額	支出年月日
1	特別管理産業廃棄物管理 責任者講習会受講料	公益財団法人 日本産業廃棄 物処理振興セ ンター	廃棄物処 理法施行 規則	特別管理産業廃棄物に 係わる管理全般にわたる 業務の必要な知識及び技 能修得	13,200	4.5.20
2	牧之原地区安全運転管理協会 年会費	牧之原地区安全 運転管理協会会 長	会則	交通安全の啓蒙	30,000	4.5.31
3	全国特別支援学校知的障害教 育校長会会費	全国特別支援学 校知的障害教育 校長会会長	会則	学校の管理運営に関する調 査研究	11,000	4.7.14
4	東海地区特別支援学校知的障 害教育校長会会費	東海地区特別支 援学校知的障害 教育校長会会長	会則	教育の充実改善の推進、調 査・研究	5,000	4.7.22
	計	4件			59,200	

□□□□□

## 建 築 工

(参考)

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当初額	変更増減額
1	教育管理費	吉田特別支援学校 体育館照明改修他 工事	榛原郡吉田町 片岡地内他	円 24,673,000	円 22,440,000	円 0
2	教育管理費	吉田特別支援学校 空調設備更新工事	榛原郡吉田町 片岡地内他	15,290,000	15,290,000	242,000
		計	2件	39,963,000	37,730,000	242,000

事 調

(令和3年度)

額	契約締結方法	受注者	着手 完 成 年 月 日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
計							
円 22,440,000	一般	(株)朋電舎	着手 3.6.11 完成 3.9.24	円 22,440,000	高天井照明42台 (安定器、昇降装置等含む)のLED 化改修に係る電気設備工事一式	—	交通基盤部 設備課
15,532,000	一般	(株)日進設備	着手 3.11.5 完成 4.3.28	15,532,000	事務室、保健室、 職員室の空調設備更新工事一式	済	交通基盤部 設備課
37,972,000				37,972,000			

□□□□□

## 建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当初額	変更増減額
1	教育管理費	静岡県立吉田特別 支援学校校舎棟教 室網戸設置工事	榛原郡吉田町 片岡地内	円 1,584,000	円 1,562,000	円 0
2	教育管理費	静岡県立吉田特別 支援学校体育館厨 房給気ダクト設置工 事	榛原郡吉田町 片岡地内	円 1,771,000	円 1,705,000	円 0
3	教育管理費	静岡県立吉田特別 支援学校本館福祉 実習棟ガスメー ター・圧力調整器更 新工事	榛原郡吉田町 片岡地内	円 737,000	円 737,000	円 0
		計	3件	4,092,000	4,004,000	0

事 調

(令和4年度)  
(令和4年8月31日現在)

額	契約 締結 方法	受注者	着 手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有財 産台帳	摘要
計							
円 1,562,000	随契	八木産業(株)	着手 4.7.20 完成 4.9.20	円 0	校舎棟の全ての普通教室に網戸を設置	—	(令達年月日) 4.6.30 (支払日) 随契1号(少額)
円 1,705,000	随契	(株)日進設備	着手 4.7.21 完成 4.9.20	円 0	体育館棟厨房に給気ダクト5箇所設置	—	(令達年月日) 4.6.30 (支払日) 随契1号(少額)
円 737,000	随契	東海ガス(株)	着手 4.8.2 完成 4.9.30	円 0	本館及び福祉実習棟のプロパン用ガスメーター等の更新	—	(令達年月日) 4.7.28 (支払日) 随契1号(少額)
4,004,000				0			

□□□□□

公 有 財 産 調

【本校】

(令和3年度)

区 分	令和3年3月31日現在		増		減		令和4年3月31日現在		摘要
	数量又は 面 積	台帳価格	数量又は 面 積	台帳価格	数量又 は面積	台 帳 格	数量又は 面 積	台帳価格	
行政財産		千円 1,118,189		千円 15,532		千円 28,285		千円 1,105,436	
土 地	㎡ 18,499.00	620,049					㎡ 18,499.00	620,049	
立木竹	本 339	10,204			1	255	本 338	9,949	枯損伐採
建 物	㎡ 4,202.66	250,413				14,814	㎡ 4,202.66	235,599	価格改定
	11,766.77		11,766.77						
工作物	個 83	237,523	7	15,532		13,216	個 90	239,839	空調設備設置 価格改定
公有財産に準ずるもの		73						73	
電話加入権	1	73					1	73	

【駿遠分教室】

区 分	令和3年3月31日現在		増		減		令和4年3月31日現在		摘要
	数量又は 面 積	台帳価格	数量又は 面 積	台帳価格	数量又 は面積	台 帳 格	数量又は 面 積	台帳価格	
行政財産		千円 6,249		千円		千円 1,109		千円 5,140	
土 地	㎡						㎡		
立木竹	本						本		
建 物	㎡ 112.00	5,310				974	㎡ 112.00	4,336	価格改定
	224.00		224.00						
工作物	個 2	939				135	個 2	804	価格改定
公有財産に準ずるもの		146						146	
電話加入権	2	146					2	146	

令和4年度中 増減なし



□□□□□

借地借家等調

(令和4年8月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量 又は 面積 m <sup>2</sup>	借料		契約期間	所有者又は 契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価 円	年額 円			
1	土地	敷地	榛原郡 吉田町 片岡2130	校舎 敷地	校舎 敷地	12,775.44		無償	4.4.1 ～ 5.3.31	吉田町長	学校敷地
2	土地	敷地	島田市 福用112	宅地	校舎 敷地	114.16		11,635	27.4.1 ～ 7.3.31	島田市長	分教室 校舎・物置 敷地
	土地計					12,889.60		11,635			
3	建物	事務所 所建	島田市 福用112	鉄筋コンクリート 2階建		<u>243.54</u> 243.54		3,426,120	4.4.1 ～ 5.3.31	駿遠学園 管理組合	駿遠分教室 教室
4	建物	事務所 所建	島田市 福用112	鉄骨ALC 折板葺 一部 2階建		<u>454.95</u> 480.14					駿遠分教室 体育館
5	建物	事務所 所建	島田市 福用112	鉄骨ALC 折板葺 一部 2階建		<u>2.2738</u> 2.2738					無償
	建物計					<u>700.76</u> 725.95		3,426,120			
計								3,437,755			

□□□□□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和4年度)

(令和4年8月31日現在)

区分	事業名又は契約名	内容	契約額						
				30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
長期継続契約	電子複写機使用契約	電子複写機の賃貸借 2台 (契約日) 令和2年4月1日	2,410,584			602,646	602,646	602,646	602,646
長期継続契約	給食調理配膳業務	給食調理配膳業務 (契約日) 令和2年7月31日	44,748,000			9,944,000	14,916,000	14,916,000	4,972,000
長期継続契約	スクールバス運行管理業務	スクールバス運行管理業務 (契約日) 令和3年4月1日	13,780,800				4,593,600	4,593,600	4,593,600
長期継続契約	通学バス輸送業務	通学バス輸送業務 (契約日) 令和3年4月1日	58,732,300				24,258,244	17,237,028	17,237,028

□□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(令和4年8月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量 又は 面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用許可を 受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	榛原郡吉田町片岡2130	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 0.70	円 免除	円 免除	2.4.1 ～ 7.3.31	清流館高等学校後援会長	記念碑の設置
2	土地	学校敷地	榛原郡吉田町片岡2130	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 0.70	円 免除	円 免除	2.4.1 ～ 5.3.31	吉田町長	広域避難地看板 の設置
3	土地	学校敷地	榛原郡吉田町片岡2130	学校敷地	学校敷地	支線柱1本 支線1条	円 1,500	円 3,000	4.4.1 ～ 9.3.31	中部電力パワーグリッド(株) 静岡支社 島田営業所長	電力供給用 電柱等
4	土地	学校敷地	榛原郡吉田町片岡2130	学校敷地	学校敷地	電柱1本 支線1条	円 1,500	円 3,000	4.4.1 ～ 9.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電気通信事業用 電柱等
5	土地	学校敷地	榛原郡吉田町片岡2130	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 0.01	円 免除	円 免除	4.4.1 ～ 9.3.31	(公社)静岡県造園緑化協会会長	記念碑の設置
6	建物	事務所建	榛原郡吉田町片岡2130	RC 5階建	RC 5階建	m <sup>2</sup> 402.75	円 免除	円 免除	3.4.1 ～ 8.3.31	吉田町長	災害対策用 物資保管場所
7	建物	事務所建	榛原郡吉田町片岡2130	RC 3階建	RC 3階建	m <sup>2</sup> 0.01	円 免除	円 免除	3.4.1 ～ 8.3.31	吉田町長	災害対策用 特設公衆電話
合	計							6,000			

□□□□□□□□

## 主 要 備 品 調

(令和4年8月31日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利 用 状 況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大・中	小				
1	10-06	その他の家庭科用器具	入浴装置 実習用バスバ RDB-3300	年間20日 自立活動用	平成8年2月	円 15,007,100
2	1-13	調理器具	真空冷却機	年間183日 給食業務用	平成27年3月	円 2,960,064
3	10-6	その他の家庭科用器具	視聴覚機器 プロジェクター他	年間200日 視聴覚学習用	平成8年2月	2,072,900
4	1-13	調理器具	コンビオープン(ガス 式)	年間183日 給食業務用	平成27年3月	2,014,524
5	10-6	その他の家庭科用器具	いす式階段昇降機 スーパーレーターα	年間20日 自立活動用	平成9年1月	1,972,450
6	6-9	木工用機械	パネルソー	年間200日 高等部の木工実習用	平成27年12月	1,587,600
7	1-13	食品食器洗浄機	ドアタイプ自動食器洗浄 器	年間183日 給食業務用	平成27年3月	1,413,720
8	3-3	プロジェクター	プロジェクター	年間200日 ICT教育用	令和3年3月	1,402,711
9	10-6	その他の家庭科用器具	その他の家庭科用器具 入浴用担架 WS-350特型	年間20日 自立活動用	平成13年2月	1,365,000
10	10-6	その他の家庭科用器具	その他の家庭科用器具 入浴用担架 WS-350特型	年間20日 自立活動用	平成13年2月	1,365,000
11	2-1	パーソナルコンピュー タ(一式)	校内LAN用サーバ(一式)	年間200日 学習用・管理用	平成27年3月	1,240,488
12	1-13	その他の厨房機器	電気式食器消毒保管機	年間183日 給食業務用	平成27年3月	1,138,860
13	10-6	その他の家庭科用器具	昇降訓練用階段 移動式ユニット階段	週1日(年間40日) 自立活動用	平成8年3月	1,081,500
14	2-2	放送装置	放送装置 体育館放送装置	年間200日 学習用・管理用	平成4年7月	1,030,000
15	1-13	調理器具	ステンレス製回転釜 110L	年間183日 給食業務用	令和2年8月	935,000
16	1-13	冷蔵(凍)庫	パススルー冷蔵庫	年間365日 給食業務用	平成27年3月	907,416
17	10-12	バスケット用器具	バスケット用器具 ボールゴール壁面固定	年間200日 施設開放用	昭和50年3月	800,000
18	10-12	バスケット用器具	バスケット用器具 ボールゴールギャラリ	年間200日 施設開放用	昭和51年3月	800,000
19	4-3	運搬用具	運搬用具 ストレッチャーST	年間20日 自立活動用	平成10年9月	751,800

□□□□□

## 生産物受払調

(令和4年8月31日現在)

品名(単位) 区分		小松菜				オクラ				サニーレタス				
		2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	
全体の生産母体の単位 を次の中から選択又は適 宜記入する。(ア) 面積(ha、a、㎡、反、等) 数量(個、鉢、本、頭、 匹、羽、パック、等) 長さ(m、等) 重さ(t、kg、等)		袋				袋				袋				
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	164	92	3	△ 72	32	25	10	△ 7	69	34	0	△ 35	
	計	164	92	3	△ 72	32	25	10	△ 7	69	34	0	△ 35	
単位数量(イ/ア)														
同前年比(%) (b-a)/a×100		/			△ 43.9	/			△ 21.9	/			△ 50.7	
払 高	売払数量	164	92	3	△ 72	32	25	10	△ 7	69	34	0	△ 35	
	売払金額	10,100	6,150	150	△ 3,950	1,600	1,250	1,000	△ 350	5,450	1,700	0	△ 3,750	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	164	92	3	△ 72	32	25	10	△ 7	69	34	0	△ 35	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要														

品名(単位) 区分		玉ねぎ				だいこん				さつまいも				
		2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	
全体の生産母体の単位 を次の中から選択又は適 宜記入する。(ア) 面積(ha、a、㎡、反、等) 数量(個、鉢、本、頭、 匹、羽、パック、等) 長さ(m、等) 重さ(t、kg、等)		袋				袋				袋				
受 高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	141	26	3	△ 115	72	109	2	37	54	76	0	22	
	計	141	26	3	△ 115	72	109	2	37	54	76	0	22	
単位数量(イ/ア)														
同前年比(%) (b-a)/a×100		/			△ 81.6	/			51.4	/			40.7	
払 高	売払数量	141	26	3	△ 115	72	109	2	37	54	76	0	22	
	売払金額	7,050	2,600	300	△ 4,450	7,200	9,450	100	2,250	5,400	6,850	0	1,450	
	非売品 数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	141	26	3	△ 115	72	109	2	37	54	76	0	22	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘 要														

品名(単位)		にんにく				ブロッコリー				かぶ				
		2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	
区分		袋				袋				袋				
全体の生産母体の単位を次の中から選択又は適宜記入する。(ア)面積(ha、a、㎡、反、等)数量(個、鉢、本、頭、匹、羽、パック、等)長さ(m、等)重さ(t、kg、等)等														
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	68	0	25	△ 68	37	41	0	4	13	21	0	8	
	計	68	0	25	△ 68	37	41	0	4	13	21	0	8	
単位数量(イ/ア)														
同前年比(%) (b-a)/a×100										10.8				
払高	売払数量	68	0	25	△ 68	37	41	0	4	13	21	0	8	
	売払金額	6,800	0	2,500	△ 6,800	3,400	4,100	0	700	1,300	2,100	0	800	
	非売品数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	68	0	25	△ 68	37	41	0	4	13	21	0	8	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名(単位)		ほうれん草				じゃがいも				さやえんどう				
		2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	
区分		袋				袋				袋				
全体の生産母体の単位を次の中から選択又は適宜記入する。(ア)面積(ha、a、㎡、反、等)数量(個、鉢、本、頭、匹、羽、パック、等)長さ(m、等)重さ(t、kg、等)等														
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	99	0	99	141	13	92	△ 128	153	163	19	10	
	計	0	99	0	99	141	13	92	△ 128	153	163	19	10	
単位数量(イ/ア)														
同前年比(%) (b-a)/a×100										△ 90.8				
払高	売払数量	0	99	0	99	141	13	92	△ 128	153	163	19	10	
	売払金額	0	6,350	0	6,350	14,100	1,300	9,200	△ 12,800	7,650	8,150	1,900	500	
	非売品数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	99	0	99	141	13	92	△ 128	153	163	19	10	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名(単位)		そらまめ				えだまめ				エシヤロット				
		2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	
区分		袋				袋				袋				
全体の生産母体の単位を次の中から選択又は適宜記入する。(ア)面積(ha、a、㎡、反、等)数量(個、鉢、本、頭、匹、羽、パック、等)長さ(m、等)重さ(t、kg、等)等														
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	40	66	14	26	0	59	10	59	87	16	31	△ 71	
	計	40	66	14	26	0	59	10	59	87	16	31	△ 71	
単位数量(イ/ア)														
同前年比(%) (b-a)/a×100		65.0				0.0				△ 81.6				
払高	売払数量	40	66	14	26	0	59	10	59	87	16	31	△ 71	
	売払金額	2,000	6,600	1,400	4,600	0	5,900	1,000	5,900	4,350	800	1,550	△ 3,550	
	非売品数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	40	66	14	26	0	59	10	59	87	16	31	△ 71	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名(単位)		カリフラワー				いんげんまめ				サラダ菜				
		2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	
区分		袋				袋				袋				
全体の生産母体の単位を次の中から選択又は適宜記入する。(ア)面積(ha、a、㎡、反、等)数量(個、鉢、本、頭、匹、羽、パック、等)長さ(m、等)重さ(t、kg、等)等														
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	26	21	0	△ 5	3	0	0	△ 3	0	32	0	32	
	計	26	21	0	△ 5	3	0	0	△ 3	0	32	0	32	
単位数量(イ/ア)														
同前年比(%) (b-a)/a×100		△ 19.2				△ 100.0				0.0				
払高	売払数量	26	21	0	△ 5	3	0	0	△ 3	0	32	0	32	
	売払金額	2,350	2,100	0	△ 250	300	0	0	△ 300	0	3,200	0	3,200	
	非売品数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	26	21	0	△ 5	3	0	0	△ 3	0	32	0	32	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名(単位)		ねぎ				つるむらさき				空心菜				
		2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	
区分		袋				袋				袋				
全体の生産母体の単位を次の中から選択又は適宜記入する。(ア)面積(ha、a、㎡、反、等)数量(個、鉢、本、頭、匹、羽、パック、等)長さ(m、等)重さ(t、kg、等)等														
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	33	0	33	0	23	0	23	0	156	0	156	
	計	0	33	0	33	0	23	0	23	0	156	0	156	
単位数量(イ/ア)														
同前年比(%) (b-a)/a×100		/				/				/				
払高	売払数量	0	33	0	33	0	23	0	23	0	156	0	156	
	売払金額	0	2,850	0	2,850	0	1,150	0	1,150	0	9,450	0	9,450	
	非売品数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	33	0	33	0	23	0	23	0	156	0	156	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														

品名(単位)		ズッキーニ				ピーマン				ししとう				
		2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	
区分		袋				袋				袋				
全体の生産母体の単位を次の中から選択又は適宜記入する。(ア)面積(ha、a、㎡、反、等)数量(個、鉢、本、頭、匹、羽、パック、等)長さ(m、等)重さ(t、kg、等)等														
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	0	0	8	0	0	0	3	0	0	0	21	0	
	計	0	0	8	0	0	0	3	0	0	0	21	0	
単位数量(イ/ア)														
同前年比(%) (b-a)/a×100		/				/				/				
払高	売払数量	0	0	8	0	0	0	3	0	0	0	21	0	
	売払金額	0	0	800	0	0	0	300	0	0	0	2,100	0	
	非売品数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	8	0	0	0	3	0	0	0	21	0	
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要														



品名(単位)		にんにくの芽				スナッフえんどう				木製小物A			
		2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a
区分		個				個				個			
全体の生産母体の単位を次の中から選択又は適宜記入する。(ア) 面積(ha、a、㎡、反、等) 数量(個、鉢、本、頭、匹、羽、パック、等) 長さ(m、等) 重さ(t、kg、等)等													
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	0	0	3	0	0	0	21	0	9	0	0	△ 9
	計	0	0	3	0	0	0	21	0	9	0	0	△ 9
単位数量(イ/ア)													
同前年比(%) (b-a)/a×100		0.0				0.0				△ 100.0			
払高	売払数量	0	0	3	0	0	0	21	0	9	0	0	△ 9
	売払金額	0	0	150	0	0	0	2,100	0	900	0	0	△ 900
	非売品数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	3	0	0	0	21	0	9	0	0	△ 9
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

品名(単位)		木製小物B				木製小物C				木製小物D			
		2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a
区分		個				個				個			
全体の生産母体の単位を次の中から選択又は適宜記入する。(ア) 面積(ha、a、㎡、反、等) 数量(個、鉢、本、頭、匹、羽、パック、等) 長さ(m、等) 重さ(t、kg、等)等													
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	124	141	0	17	0	5	0	5	0	263	0	263
	計	124	141	0	17	0	5	0	5	0	263	0	263
単位数量(イ/ア)													
同前年比(%) (b-a)/a×100		13.7				0.0				0.0			
払高	売払数量	124	141	0	17	0	5	0	5	0	263	0	263
	売払金額	25,300	29,000	0	3,700	500	0	500	0	26,300	0	26,300	
	非売品数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	124	141	0	17	0	5	0	5	0	263	0	263
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

品名(単位)		工芸小物A				工芸小物B				工芸小物C			
		2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a
区分	全体の生産母体の単位を次の中から選択又は適宜記入する。(ア)面積(ha、a、㎡、反、等)数量(個、鉢、本、頭、匹、羽、パック、等)長さ(m、等)重さ(t、kg、等)等	個				個				個			
		受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本年度生産高(イ)	7		0	12	△ 7	42	0	1	△ 42	68	0	0	△ 68
計	7		0	12	△ 7	42	0	1	△ 42	68	0	0	△ 68
単位数量(イ/ア)													
同前年比(%) (b-a)/a×100					△ 100.0				△ 100.0				△ 100.0
払高	売払数量	7	0	12	△ 7	42	0	1	△ 42	68	0	0	△ 68
	売払金額	2,100	0	6,000	△ 2,100	8,400	0	1,500	△ 8,400	13,600	0	0	△ 13,600
	非売品数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	7	0	12	△ 7	42	0	1	△ 42	68	0	0	△ 68
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

品名(単位)		工芸小物D				工芸小物E				工芸小物F			
		2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a
区分	全体の生産母体の単位を次の中から選択又は適宜記入する。(ア)面積(ha、a、㎡、反、等)数量(個、鉢、本、頭、匹、羽、パック、等)長さ(m、等)重さ(t、kg、等)等	個				個				個			
		受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本年度生産高(イ)	25		0	0	△ 25	55	105	0	50	69	74	0	5
計	25		0	0	△ 25	55	105	0	50	69	74	0	5
単位数量(イ/ア)													
同前年比(%) (b-a)/a×100					△ 100.0				90.9				7.2
払高	売払数量	25	0	0	△ 25	55	105	0	50	69	74	0	5
	売払金額	10,000	0	0	△ 10,000	11,000	10,500	0	△ 500	34,500	37,000	0	2,500
	非売品数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	25	0	0	△ 25	55	105	0	50	69	74	0	5
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘要													

区分	品名(単位)	工芸小物G				工芸小物H				工芸小物I			
		2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a
	全体の生産母体の単位を次の中から選択又は適宜記入する。(ア) 面積(ha、a、㎡、反、等) 数量(個、鉢、本、頭、匹、羽、パック、等) 長さ(m、等) 重さ(t、kg、等)等	個				個				個			
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	28	81	0	53	40	0	0	△ 40	30	0	0	△ 30
	計	28	81	0	53	40	0	0	△ 40	30	0	0	△ 30
単位数量(イ/ア)													
同前年比(%) (b-a)/a×100													
		189.3				△ 100.0				△ 100.0			
払高	売払数量	28	81	0	53	40	0	0	△ 40	30	0	0	△ 30
	売払金額	42,000	121,500	0	79,500	8,000	0	0	△ 8,000	1,500	0	0	△ 1,500
	非売品数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	28	81	0	53	40	0	0	△ 40	30	0	0	△ 30
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要													

区分	品名(単位)	工芸小物J				工芸小物K				工芸小物L			
		2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a
	全体の生産母体の単位を次の中から選択又は適宜記入する。(ア) 面積(ha、a、㎡、反、等) 数量(個、鉢、本、頭、匹、羽、パック、等) 長さ(m、等) 重さ(t、kg、等)等	個				個				枚			
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	30	0	0	△ 30	0	35	0	35	0	35	0	35
	計	30	0	0	△ 30	0	35	0	35	0	35	0	35
単位数量(イ/ア)													
同前年比(%) (b-a)/a×100													
		△ 100.0				0.0				0.0			
払高	売払数量	30	0	0	△ 30	0	35	0	35	0	35	0	35
	売払金額	3,000	0	0	△ 3,000	3,500	0	3,500	3,500	0	3,500		
	非売品数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	30	0	0	△ 30	0	35	0	35	0	35	0	35
残高又は繰越数量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
摘要													

区分	品名(単位)	紙小物I				紙小物M				紙小物N			
		2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a
	全体の生産母体の単位を次の中から選択又は適宜記入する。(ア) 面積(ha、a、㎡、反、等) 数量(個、鉢、本、頭、匹、羽、パック、等) 長さ(m、等) 重さ(t、kg、等)等	個				袋				袋			
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	0	52	0	52	0	98	0	98	0	2	0	2
	計	0	52	0	52	0	98	0	98	0	2	0	2
	単位数量(イ/ア)												
	同前年比(%) (b-a)/a×100	/			0.0	/			0.0	/			0.0
払高	売払数量	0	52	0	52	0	98	0	98	0	2	0	2
	売払金額	0	10,400	0	10,400	0	9,800	0	9,800	0	600	0	600
	非売品数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	52	0	52	0	98	0	98	0	2	0	2
	残高又は繰越数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	摘要												

区分	品名(単位)	紙小物O				紙小物P				紙小物Q			
		2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a
	全体の生産母体の単位を次の中から選択又は適宜記入する。(ア) 面積(ha、a、㎡、反、等) 数量(個、鉢、本、頭、匹、羽、パック、等) 長さ(m、等) 重さ(t、kg、等)等	個				個				個			
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	0	31	0	31	0	35	0	35	0	35	0	35
	計	0	31	0	31	0	35	0	35	0	35	0	35
	単位数量(イ/ア)												
	同前年比(%) (b-a)/a×100	/			0.0	/			0.0	/			0.0
払高	売払数量	0	31	0	31	0	35	0	35	0	35	0	35
	売払金額	0	7,750	0	7,750	0	1,750	0	1,750	0	1,750	0	1,750
	非売品数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	31	0	31	0	35	0	35	0	35	0	35
	残高又は繰越数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	摘要												

区分	品名(単位)	革小物A				革小物B				革小物C			
		2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a
	全体の生産母体の単位を次の中から選択又は適宜記入する。(ア) 面積(ha、a、㎡、反、等) 数量(個、鉢、本、頭、匹、羽、パック、等) 長さ(m、等) 重さ(t、kg、等)等	個				個				個			
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年度生産高(イ)	0	35	0	35	0	35	0	35	0	35	0	35
	計	0	35	0	35	0	35	0	35	0	35	0	35
	単位数量(イ/ア)												
	同比(%) (b-a)/a×100	0.0				0.0				0.0			
払高	売払数量	0	35	0	35	0	35	0	35	0	35	0	35
	売払金額	0	3,500	0	3,500	0	1,750	0	1,750	0	1,750	0	1,750
	非売品数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	35	0	35	0	35	0	35	0	35	0	35
	残高又は繰越数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	摘要												

区分	品名(単位)	布小物A				布小物B				計				
		2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	2年度 a	3年度 b	令和4年 8月31日 現在	差 b-a	
	全体の生産母体の単位を次の中から選択又は適宜記入する。(ア) 面積(ha、a、㎡、反、等) 数量(個、鉢、本、頭、匹、羽、パック、等) 長さ(m、等) 重さ(t、kg、等)等	個				個								
受高	前年度繰越高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	本年度生産高(イ)	14	35	0	21	30	35	0	5	1,671	2,272	278	601	
	計	14	35	0	21	30	35	0	5	1,671	2,272	278	601	
	単位数量(イ/ア)													
	同比(%) (b-a)/a×100	150.0				16.7				36.0				
払高	売払数量	14	35	0	21	30	35	0	5	1,671	2,272	278	601	
	売払金額	1,400	3,500	0	2,100	9,000	10,500	0	1,500	249,750	366,900	32,050	117,150	
	非売品数量	分類換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管理換 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	14	35	0	21	30	35	0	5	1,671	2,272	278	601	
	残高又は繰越数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	摘要													

## 職 員 調

(令和4年8月31日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校 長	稲葉 敏光		□□□	年 月 □ . □	□□□
2	副校長	池上 千穂		□□□	□ . □	□□□
3	教 頭	植田 記久乃		□□□	□ . □	□□□
4	教 諭	鈴木 眞弓	高等部	□□□	□ . □	□□□
5	教 諭	山本 文明	高等部	□□□	□ . □	□□□
6	教 諭	藤原 修	高等部	□□□	□ . □	□□□
7	教 諭	瀧田 澄江	高等部	□□□	□ . □	□□□
8	教 諭	篠原 小春	高等部	□□□	□ . □	□□□
9	教 諭	水上 敏子	高等部	□□□	□ . □	□□□
10	教 諭	山本 由希	訪問	□□□	□ . □	□□□
11	教 諭	望月 美保子	中学部	□□□	□ . □	□□□
12	教 諭	徳永 光真	小学部	□□□	□ . □	□□□
13	教 諭	池谷 尚美	高等部	□□□	□ . □	□□□
14	教 諭	牧野 庸子	高等部	□□□	□ . □	□□□
15	教 諭	矢山 賢一	中学部	□□□	□ . □	□□□
16	教 諭	鈴木 治子	小学部	□□□	□ . □	□□□
17	教 諭	竹中 智子	高等部	□□□	□ . □	□□□
18	教 諭	田中 稔子	小学部	□□□	□ . □	□□□
19	教 諭	杉村 多美子	高等部	□□□	□ . □	□□□
20	教 諭	松浦 ゆか	高等部	□□□	□ . □	□□□
21	教 諭	見崎 由紀子	小学部	□□□	□ . □	□□□
22	教 諭	秋山 千穂子	小学部	□□□	□ . □	□□□
23	教 諭	安池 郁乃	小学部	□□□	□ . □	□□□
24	教 諭	井鍋 恭子	小学部	□□□	□ . □	□□□
25	教 諭	菅野 圭	中学部	□□□	□ . □	□□□
26	教 諭	明石 洋子	中学部	□□□	□ . □	□□□
27	教 諭	鍋田 尚美	訪問	□□□	□ . □	□□□
28	教 諭	見城 佳子	訪問	□□□	□ . □	□□□
29	教 諭	齋藤 香	中学部	□□□	□ . □	□□□
30	教 諭	田中 康暁	高等部	□□□	□ . □	□□□
31	教 諭	高橋 健三	高等部	□□□	□ . □	□□□
32	教 諭	八木 仁美	小学部	□□□	□ . □	□□□
33	教 諭	志水 梓	小学部	□□□	□ . □	□□□
34	教 諭	清水 景子	中学部	□□□	□ . □	□□□
35	教 諭	和田 加恵子	小学部	□□□	□ . □	□□□
36	教 諭	野崎 知子	中学部	□□□	□ . □	□□□
37	教 諭	渡辺 勝由		□□□	□ . □	□□□
38	教 諭	藁科 友佳	中学部	□□□	□ . □	□□□
39	教 諭	上中 清信	小学部	□□□	□ . □	□□□
40	教 諭	紅林 亜朋	小学部	□□□	□ . □	□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
41	教諭	山木 美沙枝	訪問	□□□	□ . □	□□□
42	教諭	並木 亜佑美	小学部	□□□	□ . □	□□□
43	教諭	服部 千賀	小学部	□□□	□ . □	□□□
44	教諭	森本 綾子	中学部	□□□	□ . □	□□□
45	教諭	中村 由夏	高等部	□□□	□ . □	□□□
46	教諭	小川 はる香	小学部	□□□	□ . □	□□□
47	教諭	天谷 由香里	小学部	□□□	□ . □	□□□
48	教諭	高橋 優	中学部	□□□	□ . □	□□□
49	教諭	佐々木 良枝	中学部	□□□	□ . □	□□□
50	教諭	河野 康平	小学部	□□□	□ . □	□□□
51	教諭	平松 優子	小学部	□□□	□ . □	□□□
52	教諭	深津 臣	高等部	□□□	□ . □	□□□
53	教諭	土橋 達也	小学部	□□□	□ . □	□□□
54	教諭	野田 清志	高等部	□□□	□ . □	□□□
55	教諭	橋爪 千明	小学部	□□□	□ . □	□□□
56	教諭	立花 由理	高等部	□□□	□ . □	□□□
57	教諭	吉田 欣也	高等部	□□□	□ . □	□□□
58	教諭	八木 真生	高等部	□□□	□ . □	□□□
59	教諭	須原 拓実	中学部	□□□	□ . □	□□□
60	教諭	上田 昂太	高等部	□□□	□ . □	□□□
61	教諭	榛葉 和		□□□	□ . □	□□□
62	教諭	戸塚 早美	小学部	□□□	□ . □	□□□
63	教諭	清水 泰裕	小学部	□□□	□ . □	□□□
64	教諭	松崎 絢乃		□□□	□ . □	□□□
65	教諭	横山 初穂	中学部	□□□	□ . □	□□□
66	教諭	鈴木 和	高等部	□□□	□ . □	□□□
67	教諭	山下 翔	小学部	□□□	□ . □	□□□
68	教諭	高橋 一紗	中学部	□□□	□ . □	□□□
69	教諭	加藤 愛佑美	高等部	□□□	□ . □	□□□
70	教諭	名取 優	高等部	□□□	□ . □	□□□
71	教諭	川崎 桃子		□□□	□ . □	□□□
72	教諭	池谷 典子	小学部	□□□	□ . □	□□□
73	教諭	山下 亜沙美	高等部	□□□	□ . □	□□□
74	教諭	増田 和輝	高等部	□□□	□ . □	□□□
75	教諭	近藤 悠未		□□□	□ . □	□□□
76	教諭	望月 愛弓	小学部	□□□	□ . □	□□□
77	教諭	小笠原 知美		□□□	□ . □	□□□
78	教諭	藤田 凌平	小学部	□□□	□ . □	□□□
79	教諭	桂本 健志	小学部	□□□	□ . □	□□□
80	教諭	山田 桃子	高等部	□□□	□ . □	□□□
81	教諭	松澤 諒	高等部	□□□	□ . □	□□□
82	教諭	鈴木 里紗	中学部	□□□	□ . □	□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
83	教諭	青嶋 航	小学部	□□□	□ . □	□□□
84	教諭	山田 咲奈	中学部	□□□	□ . □	□□□
85	教諭	紅林 早希穂	小学部	□□□	□ . □	□□□
86	教諭	前田 小雪	小学部	□□□	□ . □	□□□
87	教諭	水野 春香	中学部	□□□	□ . □	□□□
88	教諭	黒柳 建太	高等部	□□□	□ . □	□□□
89	教諭	大石 悠菜	小学部	□□□	□ . □	□□□
90	教諭	遠藤 圭太	小学部	□□□	□ . □	□□□
91	養護教諭	安田 美峰子	養護	□□□	□ . □	□□□
92	養護教諭	山中 夏葉	養護	□□□	□ . □	□□□
93	栄養教諭	小栗 美樹子	給食指導	□□□	□ . □	□□□
94	事務長	藤田 信義		□□□	□ . □	□□□
95	主査	山下 彰子	管財・会計	□□□	□ . □	□□□
96	主査	川口 明子	会計	□□□	□ . □	□□□
97	主任	名波 由佳理	庶務・会計	□□□	□ . □	□□□

駿遠分教室

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
98	教頭	小澤 真由美		□□□	年 月 □ . □	□□□
99	教諭	岩倉 千秋	小学部	□□□	□ . □	□□□
100	教諭	内藤 朋子	小学部	□□□	□ . □	□□□
101	教諭	小野田 朋弘	中学部	□□□	□ . □	□□□
102	教諭	松山 幸美	中学部	□□□	□ . □	□□□
103	教諭	横山 豊彦	小学部	□□□	□ . □	□□□
104	教諭	鈴木 瑛志	中学部	□□□	□ . □	□□□
105	教諭	北川 文佳	中学部	□□□	□ . □	□□□
106	教諭	池谷 佑介	中学部	□□□	□ . □	□□□
				平均年数	□ . □	□□□



□□□□□

## 職 員 調

臨時職員

(令和4年8月31日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
1	教諭(任)	田中 夕起子	中学部	□□□	年 月 □ . □	□□□
2	教諭(臨)	阿部 泰子	小学部	□□□	□ . □	□□□
3	教諭(臨)	杉本 政紀	小学部	□□□	□ . □	□□□
4	教諭(臨)	松下 広大	中学部	□□□	□ . □	□□□
5	教諭(任)	時長 哲朗	高等部	□□□	□ . □	□□□
6	教諭(臨)	加藤 彪	小学部	□□□	□ . □	□□□
7	教諭(臨)	海野 真琴	高等部	□□□	□ . □	□□□
8	教諭(臨)	谷中 宏太朗	中学部	□□□	□ . □	□□□
9	教諭(任)	塩原 莉那	高等部	□□□	□ . □	□□□
10	教諭(任)	板倉 朋也	中学部	□□□	□ . □	□□□
11	非常勤講師(看護)	増田 和泉	看護師	□□□	□ . □	□□□
12	非常勤講師(看護)	久力 優子	看護師	□□□	□ . □	□□□
13	非常勤講師(看護)	田邊 昌代	看護師	□□□	□ . □	□□□
14	非常勤労務職員	鈴木 克己	用務	□□□	□ . □	□□□
15	非常勤労務職員	杉本 利美	用務	□□□	□ . □	□□□
16	非常勤労務職員	小柳 昭子	スクールバス添乗	□□□	□ . □	□□□
17	非常勤労務職員	松永 輝乃	スクールバス添乗	□□□	□ . □	□□□
18	非常勤労務職員	市川 頼子	スクールバス添乗・新 型コロナ感染症対策	□□□	□ . □	□□□
19	非常勤労務職員	内藤 浩	スクールバス添乗	□□□	□ . □	□□□
20	非常勤労務職員	瀧 博昭	スクールバス添乗・新 型コロナ感染症対策	□□□	□ . □	□□□
21	非常勤労務職員	大石 皆子	新型コロナ感染症対策	□□□	□ . □	□□□
22	非常勤労務職員	門間 幸雄	スクールバス添乗・新 型コロナ感染症対策	□□□	□ . □	□□□
23	健康管理医 学校医	田崎 健	内科	□□□	□ . □	□□□
24	学校医	石田 玲子	眼科	□□□	□ . □	□□□
25	学校医	酒井 文夫	耳鼻科	□□□	□ . □	□□□
26	学校歯科医	赤堀 仁則		□□□	□ . □	□□□
27	学校薬剤師	内山 賢太		□□□	□ . □	□□□

駿遠分教室

28	教諭(任)	石原 千佳子	小学部	□□□	□ . □	□□□
29	非常勤養護教諭	瀧野 千鶴子	養護	□□□	□ . □	□□□
30	非常勤嘱託員	宮路 希子	事務	□□□	□ . □	□□□
31	非常勤労務職員	丸山 成己	用務	□□□	□ . □	□□□
32	非常勤労務職員	縣 國雄	新型コロナ感染症対策	□□□	□ . □	□□□
33	健康管理医 学校医	高木 勇人	内科	□□□	□ . □	□□□
34	学校歯科医	又平 基史		□□□	□ . □	□□□

□□□□□

## 職 員 調

臨時職員

(令和4年8月31日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
1	教諭(任)	田中 夕起子	中学部	□□□	年 月 □ . □	□□□
2	教諭(臨)	阿部 泰子	小学部	□□□	□ . □	□□□
3	教諭(臨)	杉本 政紀	小学部	□□□	□ . □	□□□
4	教諭(臨)	松下 広大	中学部	□□□	□ . □	□□□
5	教諭(任)	時長 哲朗	高等部	□□□	□ . □	□□□
6	教諭(臨)	加藤 彪	小学部	□□□	□ . □	□□□
7	教諭(臨)	海野 真琴	高等部	□□□	□ . □	□□□
8	教諭(臨)	谷中 宏太朗	中学部	□□□	□ . □	□□□
9	教諭(任)	塩原 莉那	高等部	□□□	□ . □	□□□
10	教諭(任)	板倉 朋也	中学部	□□□	□ . □	□□□
11	非常勤講師(看護)	増田 和泉	看護師	□□□	□ . □	□□□
12	非常勤講師(看護)	久力 優子	看護師	□□□	□ . □	□□□
13	非常勤講師(看護)	田邊 昌代	看護師	□□□	□ . □	□□□
14	非常勤労務職員	鈴木 克己	用務	□□□	□ . □	□□□
15	非常勤労務職員	杉本 利美	用務	□□□	□ . □	□□□
16	非常勤労務職員	小柳 昭子	スクールバス添乗	□□□	□ . □	□□□
17	非常勤労務職員	松永 輝乃	スクールバス添乗	□□□	□ . □	□□□
18	非常勤労務職員	市川 頼子	スクールバス添乗・新 型コロナ感染症対策	□□□	□ . □	□□□
19	非常勤労務職員	内藤 浩	スクールバス添乗	□□□	□ . □	□□□
20	非常勤労務職員	瀧 博昭	スクールバス添乗・新 型コロナ感染症対策	□□□	□ . □	□□□
21	非常勤労務職員	大石 皆子	新型コロナ感染症対策	□□□	□ . □	□□□
22	非常勤労務職員	門間 幸雄	スクールバス添乗・新 型コロナ感染症対策	□□□	□ . □	□□□
23	健康管理医 学校 医	田崎 健	内科	□□□	□ . □	□□□
24	学校医	石田 玲子	眼科	□□□	□ . □	□□□
25	学校医	酒井 文夫	耳鼻科	□□□	□ . □	□□□
26	学校歯科医	赤堀 仁則		□□□	□ . □	□□□
27	学校薬剤師	内山 賢太		□□□	□ . □	□□□

駿遠分教室

28	教諭(任)	石原 千佳子	小学部	□□□	□ . □	□□□
29	非常勤養護教諭	瀧野 千鶴子	養護	□□□	□ . □	□□□
30	非常勤嘱託員	宮路 希子	事務	□□□	□ . □	□□□
31	非常勤労務職員	丸山 成己	用務	□□□	□ . □	□□□
32	非常勤労務職員	縣 國雄	新型コロナ感染症対策	□□□	□ . □	□□□
33	健康管理医 学校 医	高木 勇人	内科	□□□	□ . □	□□□
34	学校歯科医	又平 基史		□□□	□ . □	□□□

## 健康管理

### 1 3年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 108人
	職員数 108人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

### 2 4年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行つてよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人（0人）
C 2		要経過観察	0人（0人）
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	15人（15人）
D 2		要経過観察	32人（32人）
D 3		医 療 不 要	58人（35人）
区 分 者 計			105人（82人）
未区分者数			1人
合 計			106人

(1) 管理区分A～C 2  
該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア □□□□ 1人  
イ □□□□ 人  
ウ □□□□ 人  
エ □□□□ 人